

## 書評 202001



**秘蔵カラー写真で味わう 60年前の東京・日本<続>(光文社新書 1041)**

J.ウォーリー・ヒギンズ 著

光文社

元祖「カラー撮り鉄」ヒギンズが愛した「昭和 30 年代の日本」の風景。新たに見つかった蔵出しプライベート・フィルムからの傑作も加え、鉄道写真多めの選りすぐり 544 枚を、当時の思い出話とともに公開する。

産経新聞 2020/01/04

2019:12./ 510p

978-4-334-04450-3

本体 ¥1,600+税



**アメリカ、19世紀末のくびき**

杉山 恵子 著

出窓社

人種差別、異教移民の流入、拡大する貧富の格差、分断する国家…。今もアメリカを悩ます諸問題の原点を南北戦争後のアメリカ社会に探り、新たなアメリカの在り方に挑戦した名もなき人々の姿を伝える。

産経新聞 2020/01/04

2019:12./ 285p

978-4-931178-94-6

本体 ¥2,400+税



**13坪の本屋の奇跡～「闘い、そしてつながる」隆祥館書店の70年～**

木村 元彦 著

ころから

創業 70 周年を迎えた大阪・谷六のわずか 13 坪の本屋「隆祥館書店」。理不尽な出版流通に声をあげた店主の闘いを描く。また、同書店が開催する「作家と読者の集い」から、藤岡陽子、鎌田實、小出裕章、井村雅代の講演を収録。

産経新聞 2020/01/04、東京・中日新聞 2020/01/26

2019:11./ 200p

978-4-907239-43-5

本体 ¥1,700+税



**国家と道徳～令和新時代の日本へ～**

廣池 幹堂 著

文藝春秋

日常生活から国際政治まで、国家と国民が繁栄するにはどうしたらよいか。皇室、政治、家族、教育などの象徴的なエピソードを取り上げながら、人間の集団の課題について、道徳的な解決策を考える。

産経新聞 2020/01/05

2019:11./ 164p

978-4-16-391125-0

本体 ¥1,200+税



**ハッピー・マインド～ずっと、君のままで。～**

そら 著

青春出版社

ある日、目の前にあらわれた、しろくまくんカフェ。それは、こころをいやすカフェでした…。現代人が幸せに生きるためのコツ、マインドフルネスな考え方がわかる絵本。

産経新聞 2020/01/05

2019:11./ 95p

978-4-413-11309-0

本体 ¥1,300+税



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBNも併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2020年2月時点での税抜価格です。



### 古代アメリカの比較文明論～メソアメリカとアンデスの過去から現代まで～

青山 和夫、米延 仁志、坂井 正人、鈴木 紀 編  
京都大学学術出版会

謎・神秘的な古代文明というイメージが先行し、実像が紹介されることの少ないメソアメリカ文明とアンデス文明。その盛衰を精細な編年に基づいて比較し、古代文明をいかに資源化して再解釈するかについて平易に解説する。

2019:9./ 21p,444p  
978-4-8140-0238-2  
本体 ¥4,200+税



産経新聞 2020/01/05



### ヒア・アイ・アム

ジョナサン・サフラン・フォア、近藤 隆文 著  
NHK出版

祖国と家族の崩壊のなか、生きる意味とは？ 妻、夫、息子、祖父…。アメリカで暮らすユダヤ人家族が、大地震と戦争を背景に新たな一歩を踏み出す姿をホワイトと哀しさを交えて描く。“ホーム”をめぐる4世代のサーガ。

2019:10./ 851p  
978-4-14-005708-7  
本体 ¥4,800+税



産経新聞 2020/01/05、日本経済新聞 2020/01/11



### 私の知らない母

笠木 絵津子 著  
クレオ

戦前の東アジア(朝鮮・台湾・満洲・日本)に生きた著者の母の半生を、古い家族写真と現地で撮影した現在の写真を交錯させて描いた、母の昭和と著者の平成が交錯する作品集。京大名誉教授・山室信一の寄稿なども掲載。

2019:11./ 130p  
978-4-87736-149-5  
本体 ¥9,000+税



産経新聞 2020/01/11



### 地形の思想史

原 武史 著  
KADOKAWA

なぜ、皇太子一家はある「岬」を訪ね続けたのか？ なぜ、「峠」で天皇制と革命思想は対峙したのか？ なぜ、富士の「麓」でオウムは終末を望んだのか？ 国内の様々な場所を歩き、地形と思想の浅からぬ関係について考察する。

2019:12./ 269p  
978-4-04-108022-1  
本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/01/12



### 沃野の刑事

堂場 瞬一 著  
講談社

1970年。刑事の高峰と公安の海老沢は、かつてふたりの親友だった週刊誌編集長の息子の自殺を知る。単なる自殺と思われたが、独自に調べを進めるうち、日本全土を揺るがすスキャンダルが存在が、徐々に明るみに出て…。

2019:11./ 347p  
978-4-06-517694-8  
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/01/12



### アリババ～世界最強のスマートビジネス～

ミン・ゾン、土方 奈美 著  
文藝春秋

ネットワークとデータを融合し、進化・洗練させたアリババ独自の「スマートビジネス」こそが、これからの世界を制覇する。設立以来のアリババの歩みを描き、新たな戦略的枠組みと、それが今後の世界において持つ意味を示す。

2019:10./ 388p  
978-4-16-391119-9  
本体 ¥2,100+税



産経新聞 2020/01/12



### 老人流

村松 友視 著  
河出書房新社

老成を極めた人生の達人たちが醸し出す、圧倒的な人間力。「今」と「昔」の境界線を越え、自由自在に生きる術を身につける「老人」の驚くべき流儀とは。老人流の極意にせまる 55 篇のエッセイを収録。『夕刊フジ』連載を改題。

産経新聞 2020/01/12

2019:11./ 194p  
978-4-309-02841-5  
本体 ¥1,200+税



### おでんのおうさま

山本 祐司 著  
ほるぷ出版

がんも、だいこん、ごぼうてん…。おでんだねたちが、「おれがおうさまだ!」「わたしがおうさまだ!」と、騒ぎ出しました。さあ、だれがおでんのおうさまなのでしょう? 思わずお腹が鳴る、おいしい食べもの絵本。

産経新聞 2020/01/12

2019:9./ 28p  
978-4-593-10093-4  
本体 ¥1,350+税



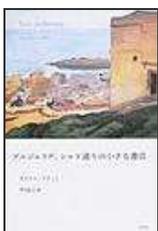
### スツキリ文章術～文法のおさらいでお悩み解消!～

時田 昌 著  
ばる出版

言いたいことがスムーズに伝わるスツキリした文章を書くには? 元・産経新聞校閲部長である著者が、読みやすい文に欠かせない文法の知識や、敬語の知識、言葉の使い方などを「50 のカギ」として解説する。

産経新聞 2020/01/12

2019:11./ 222p  
978-4-8272-1203-7  
本体 ¥1,400+税



### アルジェリア、シャラ通りの小さな書店

カウテル・アディミ、平田 紀之 著  
作品社

1930 年代半ばにアルジェに書店兼出版社を開き、以後 30 年以上にわたりアルベル・カミュや多くの優れた文学書を世に出した実在の伝説的出版人の波乱に満ちた半生を描く。ゴンクール賞、ルノー賞候補作。

産経新聞 2020/01/12

2019:11./ 237p  
978-4-86182-784-6  
本体 ¥2,200+税



### 映画の感傷～山崎まどか映画エッセイ集～

山崎 まどか 著  
DU BOOKS

スクリーンに映し出された、心が痛くなる瞬間、小さな物や、恋人たちの視線…。『ピクニック』『レディ・バード』『ビューティフル・デイズ』といった映画作品の劇場用パンフレットに寄稿した文章をまとめた映画エッセイ集。

産経新聞 2020/01/12

2019:10./ 16p,291p  
978-4-86647-096-2  
本体 ¥2,200+税



### <危機>の正体

佐藤 優、富岡 幸一郎 著  
講談社

暴発するテロ、迫るファシズム、広がるインターネットの闇、底なしの格差と貧困…。現代の危機を神学の知恵で読み解き、<希望への処方箋>を提示する。『群像』掲載の対談を書籍化。

産経新聞 2020/01/14

2019:10./ 232p  
978-4-06-517434-0  
本体 ¥1,500+税





**分断を生むエジソン**

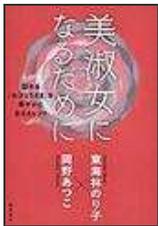
北野 唯我 著  
講談社

なぜリーダーは 2 度生まれるのか? ビジネスにおける「ペイン型」と「ゲイン型」の違いとは? ある女性起業家が復活を遂げるまでの物語を通して、それらの謎を解き明かす。カードを封入した袋とじ付き。

産経新聞 2020/01/18

2019:11./ 222p  
978-4-06-518106-5

本体 ¥1,500+税



**美淑女になるために〜訪れる「おひとりさま」を華やかに生きるヒント〜**

東海林 のり子、岡野 あつこ 著  
徳間書店

「おひとりさま」になってから最期のパートナーを探すことの是非や、探し方。女性としての潤いを維持するための方法…。夫を失ったばかりの東海林のり子と、最期の婚活を実行中の離婚カウンセラー・岡野あつこが語り合う。

産経新聞 2020/01/18

2019:11./ 211p  
978-4-19-864955-5

本体 ¥1,700+税



**如何様**

高山 羽根子 著  
朝日新聞出版

復員した画家・平泉貫一は、出征前と同じ人物なのか。似ても似つかぬ姿で帰ってきたものの、男は失踪してしまい…。『小説トリッパー』掲載の表題作ほか、『文学ムック たべるのがおそい』掲載の「ラピード・レチェ」も収録。

産経新聞 2020/01/19

2019:12./ 148p  
978-4-02-251659-6

本体 ¥1,300+税



**ぼけますから、よろしくお願いします。**

信友 直子 著  
新潮社

85 歳の母に認知症診断、93 歳の父が初の家事に挑む!? 彼らの娘であり、同名ドキュメンタリー映画を監督・撮影した著者が、認知症介護に直面した家族のリアルを綴る。

産経新聞 2020/01/19

2019:10./ 253p  
978-4-10-352941-5

本体 ¥1,364+税



**フラッフィーとキャロルママ〜親子で語り合う絵本〜<第 1 巻> しあわせを運ぶねこ**

吉田 総一郎 著  
世界文化社

内気な性格の子ねこフラッフィーが、身勝手な人間社会の都合でひとりぼっちになりながら、勇気と知恵をつかって親友のブラッキーに会いに行き…。どんな地域にも援助してくれる人は必ずいることを伝える。

産経新聞 2020/01/19

2019:11./ 32p  
978-4-418-19820-7

本体 ¥1,500+税



**教養としての近現代美術史**

三田 晴夫 著  
自由国民社

「美術史」はビジネスパーソンの必須教養。産業革命の進展を機に成立した市民社会の源流にまで遡り、そこから多種多様の新しい美の花々を咲き誇らせてきた西洋近現代美術の変遷史をたどる。仕事に使える言葉が満載。

産経新聞 2020/01/19

2019:12./ 342p  
978-4-426-12562-2

本体 ¥1,500+税





### つくられた最長政権

石井 一 著  
産経新聞出版

憲政史上、最長の政権と万年野党の理由は何か。背景には選挙制度の欠陥による自公連立の 20 年がある。90 年代、現在の選挙制度を生み出した張本人が、300 冊の克明な手帳に基づきすべてを語る。

2019:12./ 269p  
978-4-8191-1378-6  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/01/19



### ウイグル人

トルグン・アルマス、東 綾子 著  
集広舎

アジアを駆けた誇り高き男たち、女たちのドラマ。1989 年に東トルキスタンで出版された、ウイグル人歴史家によるウイグルの歴史書。ウイグル・カガン国からカラハン朝、天山ウイグル国、甘州ウイグル国までを収録。

2019:12./ 469p  
978-4-904213-84-1  
本体 ¥4,545+税



産経新聞 2020/01/19



### Passion〜受難を情熱に変えて〜<Part2>

前田 恵理子 著  
医学と看護社

小児心臓 CT や被曝の専門家として国内外で重責を負いながら、再発を繰り返す肺癌を 3 度の手術や化学療法、放射線治療などを経て克服し…。相次ぐ受難を情熱に変えて走り抜いてきた女医・前田恵理子の渾身の半世紀、続編。

2019:12./ 250p  
978-4-909888-01-3  
本体 ¥1,780+税



産経新聞 2020/01/19



### 美意識の値段(集英社新書 1008)

山口 桂 著  
集英社

世界的オークション会社クリスティーズ日本法人の社長が、日本美術への想いを通して、アートと共にある生活を提案し、美意識の磨き方とそれをビジネスや人生に活かす視点を示す。

2020:1./ 206p  
978-4-08-721108-5  
本体 ¥840+税



産経新聞 2020/01/22



### 鐘よ鳴り響け〜古関裕而自伝〜(集英社文庫 こ42-1)

古関 裕而 著  
集英社

生涯で約 5000 曲の作曲を手掛けた古関裕而。福島での誕生から作曲の面白さに目覚めた小学生時代、山田耕筰に見いだされてのデビュー、名曲たちの誕生秘話まで、昭和史に燦然と輝く伝説の作曲家の唯一無二の自伝。

2019:12./ 307p  
978-4-08-744059-1  
本体 ¥640+税



産経新聞 2020/01/25



### 竜になれ、馬になれ

尾崎 英子 著  
光文社

小児脱毛症に悩む 11 歳・将棋部のハルは、将棋の指せるカフェを営む元女流棋士・夕子と出会い…。大人への階段を上り始めた少女が、将棋と向き合い、悩みや苦しみを受け止めてゆく様をみずみずしく描いた成長小説。

2019:12./ 260p  
978-4-334-91324-3  
本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/01/26



### 探検家とペネロペちゃん

角幡 唯介 著  
幻冬舎

私は成長し、言葉を獲得していくペネロペを見ながら、いったいこの子はどのような未知を探検しているのか知りたくて仕方がなかった…。探検家の著者がつづる、異様にかわいい娘の観察記。『小説幻冬』連載を加筆修正。

2019:10./ 244p  
978-4-344-03528-7  
本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/01/26



### 「無意識」はすべてを知っている～内なる力を呼び覚ます～

町田 宗鳳 著  
青春出版社

私たちの内面に広がる宝、「無意識の力」とつながると、人生の風景は大きく変わってくる。無意識とは何か、心理学や仏教の考え方を紹介しながら明らかにするとともに、「無意識と対話して夢を実現させる道」についても語る。

2019:12./ 221p  
978-4-413-23142-8  
本体 ¥1,520+税



産経新聞 2020/01/26



### スピノザよく生きるための哲学

フレデリック・ルノワール、田島 葉子 著  
ポプラ社

哲学者スピノザの波乱に富んだ人生を描くとともに、彼の根本思想等を「神学・政治論」に基づいて明快に説く。また、「エチカ」の主要部分である神観、人間観、感情論、善悪を超えた倫理観などを具体例とともに平易に解説する。

2019:12./ 251p  
978-4-591-16470-9  
本体 ¥2,500+税



産経新聞 2020/01/26



### 橙書店にて

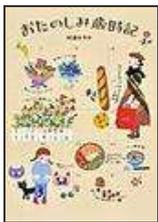
田尻 久子 著  
晶文社

ちいさな店に集うお客さんを店主はそっと見つめ、書棚の向こう、かそけき声に寄り添う…。熊本中路地裏にある「橙書店」を舞台に描く、33篇の物語。著者渾身の書き下ろしに、『アルテリ』掲載3篇を加えてまとめたもの。

2019:11./ 227p  
978-4-7949-7160-9  
本体 ¥1,650+税



産経新聞 2020/01/26



### おたのしみ歳時記

杉浦 さやか 著  
ワニブックス

凝ったことはできないけれど、ちょっとした手間やアイデアを使って、四季の移ろいを日々感じていたい。カジュアル生け花、まんまるお月見会など、その季節ならではの小さな手作りや飾り、大好きな行事のスケッチをまとめる。

2019:11./ 127p  
978-4-8470-9856-7  
本体 ¥1,300+税



産経新聞 2020/01/26



### 沖縄島建築～建物と暮らしの記録と記憶～(味なたてもの探訪)

普久原 朝充、岡本 尚文 著  
トゥーヴァージンズ

日本のなかでも地理的、歴史的に特異な位置にあり、国際情勢にも左右されてきた沖縄。そんな沖縄建築のなかから 10 軒をとりあげ、そこに生きる人々の話とともに紹介する。データ:2019年11月現在。

2019:12./ 191p  
978-4-908406-40-9  
本体 ¥1,900+税



産経新聞 2020/01/26



### 老い、どん!~70?90代あなたにも「ヨタヘロ期」がやってくる~

樋口 恵子 著  
婦人之友社

人生の最終段階の幸福のために何をなすべきか。満身創痍ならぬ満身疼痛の「ヨタヘロ期」をよろめきながら直進している 87 歳の著者が、老いの現実と覚悟を伝える。『明日の友』連載を単行本化。

2019:12./ 158p  
978-4-8292-0914-1  
本体 ¥1,350+税



産経新聞 2020/01/28



### 黒雲の下で卵をあたためる(岩波現代文庫 文芸 314)

小池 昌代 著  
岩波書店

誰もが毎日見ている空の下で、あの黒雲の下で、今、何が起きているのだろうか？ 詩人の鋭い感性と豊かな想像力から立ち現れる、誰もが気が付かなかった日常風景のなかの一場面…。しずかな抒情にみちたエッセイ集。

2019:12./ 5p,238p  
978-4-00-602314-0  
本体 ¥920+税



朝日新聞 2020/01/11



### グッドバイ

朝井 まかて 著  
朝日新聞出版

長崎の油商・大浦屋の女あるじ、お希以(のちの大浦慶)は無鉄砲にも異国との茶葉交易に乗り出した。やがて明治という時代に漕ぎ出したお慶だが、思わぬ逆波が襲いかかる。『朝日新聞』連載に加筆修正し単行本化。

2019:11./ 359p  
978-4-02-251647-3  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/01/11



### ナポレオン<1> 台頭篇

佐藤 賢一 著  
集英社

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。1 は、幼少期からイタリア方面軍司令官として数々の戦争に歴史的勝利を収めるまでの躍進期を描く。集英社 WEB 文芸『RENZABURO』掲載を書籍化。

2019:8./ 525p  
978-4-08-771197-4  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/01/11



### ナポレオン<2> 野望篇

佐藤 賢一 著  
集英社

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。2 は、若き常勝將軍から初代フランス皇帝の座へと駆け上がるまでを描く。集英社 WEB 文芸『RENZABURO』掲載を書籍化。

2019:9./ 517p  
978-4-08-771198-1  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/01/11



### ナポレオン<3> 転落篇

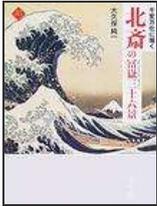
佐藤 賢一 著  
集英社

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。3 は、ヨーロッパの大半を支配した稀代の英雄の栄光と凋落を描く。集英社 WEB 文芸『RENZABURO』掲載を書籍化。完結。

2019:10./ 517p  
978-4-08-771199-8  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/01/11



**北斎の富岳三十六景～千変万化に描く～(アートセレクション)**

大久保 純一 著  
小学館

「三十六景」と題しながら、じつは全部で 46 枚。「富岳三十六景」の全図版を完全収録。主題に即した視点で全図版を分類して解説。描かれた景観に隠された北斎のねらいや、人物のしぐさ、図像についても読み解く。

2005:8./ 127p  
978-4-09-607022-2  
本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/01/11



**絶滅危惧職、講談師を生きる(新潮文庫 か-88-1)**

神田 松之丞 著  
新潮社

彼はなぜ、滅びかけの芸を志したのか。いま最もチケットの取れない講談師・神田松之丞が、大名跡「神田伯山」を復活させるまでの軌跡を語った革命的芸道論。新章「松之丞時代の終わり」を追加して文庫化。

2019:11./ 252p  
978-4-10-101591-0  
本体 ¥550+税



朝日新聞 2020/01/11



**富士山はどうしてそこにあるのか～地形から見る日本列島史～(NHK 出版新書 584)**

山崎 晴雄 著  
NHK出版

関東平野はなぜ広い？ リアス式海岸はどうしてできる？ 富士山が「不二の山」の理由とは？ 活断層の専門家が、地殻変動と気候変化から、日本各地の特異な地形の成り立ちを語る。

2019:5./ 238p  
978-4-14-088584-0  
本体 ¥850+税



朝日新聞 2020/01/11



**サブリナ**

ニック・ドルナソ、藤井 光 著  
早川書房

仕事から帰る途中にサブリナが行方不明になって、ひと月が経った。ある日、衝撃的な映像を収めたビデオテープがメディア各社に送られ…。グラフィックノベル初のブッカー賞ノミネート作品。

2019:10./ 205p  
978-4-15-209883-2  
本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2020/01/11



**天皇と軍隊の近代史(けいそうブックス)**

加藤 陽子 著  
勁草書房

1930 年代の日本の軍事と外交を専門とする著者が、天皇制下の軍隊の在り方の特徴とその変容を捉え、軍が政策決定の本質的変容にどのような影響をもたらしたのかを、明快な論理と筆致で描き出す。

2019:10./ 12p,365p,9p  
978-4-326-24850-6  
本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2020/01/11



**「家族の幸せ」の経済学～データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実～(光文社新書 1015)**

山口 慎太郎 著  
光文社

「赤ちゃんには母乳が一番」「3 歳までは母親がつきっきりで子育てすべき」は間違い！ 出産や子育てにおいて幅をきかせる科学的根拠を一切無視した「思い込み」を、気鋭の学者が最先端の経済学的手法で徹底的に論破する。

2019:7./ 259p  
978-4-334-04422-0  
本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/01/11



**「富士見」の謎～一番遠くから富士山が見えるのはどこか?～(祥伝社新書 239)**

田代 博 著  
祥伝社

どこからどのように富士山が眺められるかを研究しつづけた著者は、全国 20 都府県のビューポイントをくまなく調査し、富士山可視マップを作り上げた。それらとともに、さまざまな「富士見」の楽しみを紹介する。

2011:6./ 255p  
978-4-396-11239-4  
本体 ¥800+税



朝日新聞 2020/01/11



**青卵(ちくま文庫 ひ 19-4)**

東 直子 著  
筑摩書房

柔らかな空気をまといながら、時にハッとさせられる表現や心の奥を覗くような影を含んだ歌など、独自の感覚に充ちた歌人・東直子の作品 491 首を収めた第 2 歌集。花山周子の評論、穂村弘との対談も収録する。

2019:11./ 281p  
978-4-480-43625-2  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2020/01/11



**こんなにも面白い万葉集**

山口 博 著  
PHP研究所

宮仕えをさぼって怒られた人の歌、妻を思う防人の歌、刑死した大津皇子の歌…。古典のわかりやすい解説に定評のある専門家が、万葉集の和歌より先に現代語訳を紹介し、万葉人の姿を生き生きと描写する。

2019:10./ 236p  
978-4-569-84550-0  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/01/11



**世界の樹木をめぐる 80 の物語**

ジョナサン・ドロリー、ルシール・クレール、三枝 小夜子 著  
柏書房

イチゴノキ、コルクガシ、イチジク、ウルシ、アボカド…。世界各地の代表的な樹木をとりあげ、そこに暮らす人々の樹木への思い、具体的な利用のされ方、樹木の生きるための戦略などを細密なイラストとともに描く。

2019:11./ 239p  
978-4-7601-5190-5  
本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2020/01/11



**星宙(ほしぞら)の飛行士～宇宙飛行士が語る宇宙の絶景と夢～**

油井 亀美也、林 公代、宇宙航空研究開発機構 著  
実務教育出版

眼下を流れる流れ星、寄せては返す波のようなオーロラ…。油井宇宙飛行士が宇宙で撮影した絶景写真を、撮影時の貴重なエピソードとともに紹介。「儚い地球」への思いや、これからの夢についても語る。

2019:11./ 191p  
978-4-7889-0800-0  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/01/11



**BL が開く扉～変容するアジアのセクシュアリティとジェンダー～**

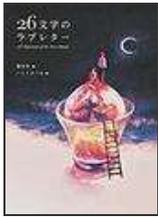
ジェームズ・ウェルカー 著  
青土社

BL はアジアでは独自の変容を遂げ、大きな社会的影響力を持っていた。世界の BL、LGBTQ、マンガ研究の第一人者たちが、BL 分析から見えるアジアの現状と日本の特異性を解き明かす。シンポジウムをもとに書籍化。

2019:10./ 299p,4p  
978-4-7917-7225-4  
本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/01/11



### 26文字のラブレター

遊泳舎 編  
いとう あつき 著  
遊泳舎

江戸末期から明治にかけて流行した都々逸。恋愛にまつわる 60 作品を、現代解釈を交えたイラストとともに紹介する。ほか、都々逸の作り方、作家やアーティストによるオリジナル都々逸も収録。

朝日新聞 2020/01/11

2019:12./ 158p  
978-4-909842-04-6  
本体 ¥1,800+税



### 聖者のかけら

川添 愛 著  
新潮社

1252 年、ローマ近郊の修道院に届いた謎の聖遺物が次々に奇蹟を起こした。調査を命じられた若き修道士ベネディクトが村の助祭とアッシジへ向かうと、聖者の遺体が墓所から消えていて…。史実をもとに描く、歴史ミステリ。

朝日新聞 2020/01/11、産経新聞 2020/01/12

2019:10./ 523p  
978-4-10-352891-3  
本体 ¥2,700+税



### ザ・ペンシル・パーフェクト～文化の象徴“鉛筆”の知られざる物語～

キャロライン・ウィーヴァー、片桐 晶、日本鉛筆工業協同組合 著  
学研プラス

鉛筆をこよなく愛する著者による、鉛筆のすべてがわかる完全読本。16 世紀のグラフィイト(黒鉛)の発見から、21 世紀のネット時代の鉛筆まで、鉛筆がたどってきた歴史や知られざる鉛筆の素晴らしさを紹介する。

朝日新聞 2020/01/11、読売新聞 2020/01/19

2019:12./ 165p  
978-4-05-406717-2  
本体 ¥3,000+税



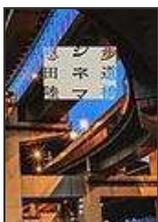
### 古くてあたらしい仕事

島田 潤一郎 著  
新潮社

?をつかない。裏切らない。ぼくは具体的なだれかを思って、本をつくる。それしかできない。ひとり出版社「夏葉社」の 10 年が伝える、働き方と本の未来。

朝日新聞 2020/01/11、日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 218p  
978-4-10-352961-3  
本体 ¥1,800+税



### 歩道橋シネマ

恩田 陸 著  
新潮社

秘かに都市伝説となった歩道橋を訪れた「私」が記憶と現実と世界の裂け目を目撃する表題作ほか、ホラー、SF、青春、ミステリなどあらゆるジャンルの全 18 編を収録する。『小説新潮』ほか掲載をまとめて単行本化。

朝日新聞 2020/01/12

2019:11./ 315p  
978-4-10-397112-2  
本体 ¥1,600+税



### あたしたち、海へ

井上 荒野 著  
新潮社

楽しいことはいつでも、三人一緒のはずだった。クラスであれが始まるまでは…。大人には見えない、少女たちの孤独な魂にそっと寄り添う物語。『小説新潮』掲載を改題し書籍化。

朝日新聞 2020/01/12

2019:11./ 222p  
978-4-10-473105-3  
本体 ¥1,600+税





**黒武御神火御殿〜三島屋変調百物語六之続〜(三島屋変調百物語 6)**

宮部 みゆき 著  
毎日新聞出版

おちかに代わり、新たな聞き手は富次郎。再会した友が、一家離散の怖い真相を語り始め…。心揺さぶる江戸怪談が、新章に突入。全 4 話を収録する。『毎日新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2020/01/12

2019:12./ 569p  
978-4-620-10845-2  
本体 ¥1,800+税



**ケンカじょうとういつでもそばに**

ソノダ ノア 著  
KADOKAWA

刻々と移り変わっていく娘の姿を残したい。写すのは目の前にある日常と、そこに溶け込んだ違和感、そして、娘であり、いつかの自分自身の姿とも重なって映る 11 歳の女の子の姿。日常の断片を切り取った写真集。

朝日新聞 2020/01/18

2019:10./ 1 冊(ページ付なし)  
978-4-04-064172-0



**マイ・ブローケン・マリコ(BRIDGE COMICS)**

平庫 ワカ 著  
KADOKAWA

柄の悪い OL のシノは親友の死を知り、ある行動を決意した。女同士の魂の結びつきを描く鮮烈なロマンシスストーリー!

朝日新聞 2020/01/18

2020:1./ 183p  
978-4-04-064246-8  
本体 ¥650+税



**記憶の盆をどり**

町田 康 著  
講談社

突然自宅を訪ねて来た女は、かつて弄んで棄てた女と同一人物なのか。記憶が曖昧なまま女と街へ出て思い出したことは。「記憶の盆をどり」ほか、「エゲバムヤジ」「少年の改良」など全 9 編を収めた短編作品集。

朝日新聞 2020/01/18

2019:10./ 296p  
978-4-06-517089-2  
本体 ¥1,700+税



**韓国 行き過ぎた資本主義〜「無限競争社会」の苦悩〜(講談社現代新書 2549)**

金 敬哲 著  
講談社

超格差社会の韓国では、政府の行き過ぎた新自由主義的政策により、すべての世代が無限競争に駆り立てられている。これは、近い将来、日本を含めた全世界に広がっているかもしれない。資本主義の最先端に行く韓国の今を伝える。

朝日新聞 2020/01/18

2019:11./ 214p  
978-4-06-518194-2  
本体 ¥860+税



**聖なるズー**

濱野 ちひろ 著  
集英社

犬や馬をパートナーとする動物性愛者「ズー」。性暴力に苦しんだ経験を持つ著者は、ドイツで彼らと寝食をともにしながら、取材を重ね…。人間にとって愛とは何か、暴力とは何かを考察したノンフィクション。

朝日新聞 2020/01/18

2019:11./ 277p  
978-4-08-781683-9  
本体 ¥1,600+税





**着物憑き**

加門 七海 著  
集英社

人が着物を選ぶのではなく、着物が人を選ぶのだ。糸に布に織りに...入り組んだ情念を身にまとうとき、怪しい気配が立ちのぼる。着物をめぐる 11 の談を収録。和装関係用語の解説付き。『よみタイ』掲載を書籍化。

2019:11./ 253p  
978-4-08-788025-0  
本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/01/18



**みみずくは黄昏に飛びたつ~Murakami Haruki A Long,Long Interview~(新潮文庫 む-5-43)**

新潮社

「騎士団長殺し」誕生秘話、創作の極意、少年期の記憶、名声と日常、そして死後のこと...。村上春樹が、少女時代からの熱心な愛読者・川上未映子に、自身の最深处を鮮烈な言葉で語る。新たな対談を加えて文庫化。

2019:12./ 469p  
978-4-10-100175-3  
本体 ¥750+税



朝日新聞 2020/01/18



**みだれ髪(新潮文庫)**

与謝野 晶子 著  
新潮社

朝日新聞 2020/01/18

1999:12./ 254p  
978-4-10-117021-3  
本体 ¥430+税



**見えない戦争(インビジブルウォー)(中公新書ラクレ 671)**

田中 均 著  
中央公論新社

一国・大国主義、過激な主張外交がポピュリズムに乗じて勢を増す中、世界で起きている「見えない戦争」。日本はなすすべがないのか？ 日本外交きっての戦略家が「見えない戦争」を生き抜くための正確な眼とメソッドを伝授。

2019:11./ 205p  
978-4-12-150671-9  
本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/01/18



**8050 問題の深層~「限界家族」をどう救うか~(NHK 出版新書 596)**

川北 稔 著  
NHK出版

長期・高齢ひきこもり「8050 問題」について、全国規模の調査や支援現場のフィールドワークをもとに、問題の本質を解明。同時に、「親子共倒れ」から脱する具体的方策も提言する。

2019:8./ 207p  
978-4-14-088596-3  
本体 ¥800+税



朝日新聞 2020/01/18



**カブールの園(文春文庫 み 60-1)**

宮内 悠介 著  
文藝春秋

米国に住む日系三世の玲は、小学校で苛められた凄絶な記憶と、二世の母との関係に苦しんでいた。祖父母のいた強制収容所の跡を訪れた玲は問う-「わたしたちの世代の最良の精神」はどこにある? 「半地下」併録。

2020:1./ 233p  
978-4-16-791423-3  
本体 ¥690+税



朝日新聞 2020/01/18



**ルポ「8050問題」～高齢親子“ひきこもり死”の現場から～(河出新書 014)**

池上 正樹 著  
河出書房新社

80代の親が、ひきこもる50代の子どもを支えて生活に行き詰まる「8050問題」。彼らが安心して生きていける社会にするために、今、何をすべきなのか。ジャーナリストが現場の声を届ける。

朝日新聞 2020/01/18

2019:12./ 252p  
978-4-309-63115-8

本体 ¥840+税



**しらふで生きる～大酒飲みの決断～**

町田 康 著  
幻冬舎

30年間毎日酒を飲み続けた作家は、4年前の年末、「酒をやめよう」と突如、思い立った。禁酒によって生じた精神ならびに身体の変化、苦悩と葛藤、その心境を微細に綴る。『小説幻冬』連載を改題、加筆・修正し単行本化。

朝日新聞 2020/01/18

2019:11./ 219p

978-4-344-03532-4

本体 ¥1,500+税



**「頭がいい」の正体は読解力(幻冬舎新書 ひ-2-2)**

樋口 裕一 著  
幻冬舎

ものごとを正確に読み取り、理解する力=読解力。飛ばし読みや資料の要約、会話やコミュニケーションにも役立つスキルを、「語彙力」→「文章力」→「読解力」の3ステップで練習問題を解きながら鍛える。

朝日新聞 2020/01/18

2019:11./ 194p

978-4-344-98577-3

本体 ¥780+税



**出家への道～苦の果てに出逢ったタイ仏教～(幻冬舎新書 ふ-19-1)**

プラ・アキラ・アマロー 著  
幻冬舎

自らの才能に対する疑いと不安、楽な方へと流れてしまう性ゆえに、仕事に行きづまり、経済的にも困窮した直木賞作家は、逃げ出すようにして移住したタイで俗世を捨て...。「人生の敗退者」が、新たな道を歩み始めるまでの記録。

朝日新聞 2020/01/18

2019:11./ 205p

978-4-344-98578-0

本体 ¥780+税



**世界一のプログラマーがやっている努力 2.0**

ときど 著  
ダイヤモンド社

仕事でも人生でもゲームでも「東大に受かる」努力ではもう勝てない。圧倒的に変化が激しいeスポーツでNo.1になった東大卒のプロ格闘ゲーマーが、変化の激しい世界に対応できる努力の方法論を伝える。

朝日新聞 2020/01/18

2019:12./ 247p

978-4-478-10831-4

本体 ¥1,500+税



**龍彦親王航海記～澁澤龍彦伝～**

礒崎 純一 著  
白水社

没後30年を過ぎたいまなお、多くのひとびとに読まれる人気作家・澁澤龍彦の最晩年に、編集者として聲咳に接した著者による初の伝記。未公開資料と知られざる逸話を交えながら、不世出の異才の生涯を辿る。

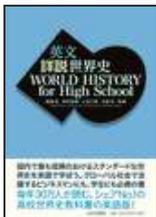
朝日新聞 2020/01/18

2019:10./ 506p,14p

978-4-560-09726-7

本体 ¥4,000+税





### 英文詳説世界史

橋場 弦、岸本 美緒、小松 久男、水島 司 著  
山川出版社

国内で最も信頼のおけるスタンダードな世界史を、英語で学ぼう！ 高校世界史教科書として定評のある「詳説世界史」を英訳。図版もオールカラーで収録する。

2019:8./ 459p  
978-4-634-64162-4

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2020/01/18



### 大論争日本人の起源(宝島社新書 552)

斎藤 成也、関野 吉晴、片山 一道、武光 誠 著  
宝島社

日本人の起源たる縄文人はどのように作られたのか？ 天皇のはじまりは？ 大陸からの影響は？ 日本人の起源について、遺伝学、人類学、考古学、歴史学などの専門家が学際的に論じる。

2019:10./ 347p

978-4-8002-9929-1

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/01/18



### オランダの文豪が見た大正の日本

ルイ・クペールス、國森 由美子 著  
作品社

長崎から神戸、京都、箱根、東京、そして日光へ。オランダの大文豪ルイ・クペールスが、その最晩年の 1922(大正 11)年の春から夏にかけて日本を訪れた際に記した紀行文。写真 70 点も収録する。

2019:10./ 350p

978-4-86182-769-3

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2020/01/18



### 草はらに葬られた記憶「日本特務」～日本人による「内モンゴル工作」とモンゴル人による「対日協力」の光と影～

ミンガド・ボラグ 著

関西学院大学出版会

満州事変、ヤルタ協定、ソ連・モンゴル人民共和国の対日参戦といった歴史的事象における、モンゴル人による「対日協力」と、日本人による「内モンゴル工作」の光と影を、モンゴル人の視点から描く。

2019:10./ 13p,246p

978-4-86283-290-0

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/01/18



### 「ひきこもり」経験の社会学

関水 徹平 著

左右社

「ひきこもり」経験者および「ひきこもり」経験者以外の人びと-とりわけ家族や行政-にとって、「ひきこもり」経験とはどのような経験なのか。ひきこもり研究の新たな担い手がひきこもり問題の社会的様相を浮かび上がらせる。

2016:10./ 371p,23p

978-4-86528-156-9

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2020/01/18



### お金本

左右社編集部 編

左右社

貯金は底をついても才能は枯渇しない！ 小泉八雲、二葉亭四迷から村上春樹、北野武まで、文豪を中心とする作家たちのお金にまつわるエッセイ、日記、手紙などを集めたアンソロジー。井伏鱒二、中島らもらのお金 Q&A も収録。

2019:10./ 334p

978-4-86528-251-1

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2020/01/18



### ゴシック・カルチャー入門(ele-king books)

後藤 護 著  
Pヴァイン

「ゴシック」から「ゴス」へ。文化のダークサイドに興味を持つ著者が、文学、美術、映画、音楽、ファッションなど、様々な分野にまたがり 100 年以上にわたって大きな影響を及ぼしてきた「暗黒美学」の全貌に迫る。

朝日新聞 2020/01/18

2019:11./ 269p,2p  
978-4-909483-45-4

本体 ¥2,700+税



### プリンス頓大学で文学/政治を語る～バルガス=リヨサ特別講義～

マリオ・バルガス=リヨサ、立林 良一 著  
河出書房新社

キューバ革命、ペルー大統領選、ドミニカ共和国の独裁者…。世界を揺るがす出来事をいかにして小説化するか。文学と社会、ジャーナリズム、登場人物の造形法、物語における時間構成などを、ノーベル文学賞作家が語った講義録。

朝日新聞 2020/01/18、産経新聞 2020/01/19

2019:12./ 268p  
978-4-309-20785-8

本体 ¥3,000+税



### 星の子(朝日文庫 い93-1)

今村 夏子 著  
朝日新聞出版

林ちひろは中学 3 年生。出生直後から病弱だった娘を救いたい一心で、ちひろの両親は「あやしい宗教」にのめり込んでいき、その信仰は少しずつ家族のかたちを歪めていく…。小川洋子との対談も収録。

朝日新聞 2020/01/18、読売新聞 2020/01/19

2019:12./ 255p  
978-4-02-264940-9

本体 ¥620+税



### 炎の中の図書館～110万冊を焼いた大火～

スーザン・オーリアン、羽田 詩津子 著  
早川書房

1986 年、ロサンゼルス中央図書館で大火災が発生。40 万冊を焼き、70 万冊が損傷した。出火の原因は？ 図書館は復活するのか？ 火災の経緯を軸に、図書館を取り巻く個性豊かな人々や、図書館の過去・現在・未来を描く。

朝日新聞 2020/01/18、日本経済新聞 2020/01/18

2019:11./ 382p  
978-4-15-209894-8

本体 ¥2,600+税



### 若草物語～I&II～

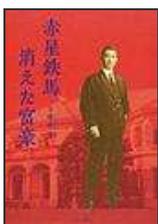
レイザ・メイ・オルコット 著  
講談社

メグ、ジョー、ベス、エイミー。世界でもっとも愛されている四姉妹のかけがえのない、しあわせな日々へようこそ。四姉妹のはつらつとした少女時代から、喜びと悲しみが見事に溶け合った青春時代までを通して楽しめる一冊。

朝日新聞 2020/01/25

2019:12./ 551p  
978-4-06-517805-8

本体 ¥1,900+税



### 赤星鉄馬 消えた富豪

与那原 恵 著  
中央公論新社

武器商人の父の遺産で日本初の学術財団「啓明会」を設立し、芦ノ湖にアメリカからブラックバスを移入。日本ゴルフの草創期を牽引し、朝鮮半島では広大な牧場を経営…。何も書き残さず姿を消した富豪、赤星鉄馬の一生を追う。

朝日新聞 2020/01/25

2019:11./ 413p  
978-4-12-005244-6

本体 ¥2,500+税





### 天、共に在り～アフガニスタン三十年の闘い～

中村 哲 著  
NHK出版

1984年よりパキスタン、アフガニスタンで支援活動続ける医師・中村哲。彼はなぜ1600本もの井戸を掘り、25.5キロにもおよぶ用水路を拓くに至ったのか。「天」と「縁」をキーワードに、その数奇な半生をつづる。

朝日新聞 2020/01/25

2013:10./ 252p  
978-4-14-081615-8

本体 ¥1,600+税



### 55(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 475-1)

ジェイムズ・デラギー 著  
早川書房

小さな警察署に、血塗れの男が駆け込んできた。殺人鬼に「おまえが55番目の犠牲者」と脅されたが、命からがら逃げてきたという。だがまもなく、犯人と被害者を入れ替えたと主張する男が現れる。どちらが54人を殺したのか？

朝日新聞 2020/01/25

2019:12./ 489p

978-4-15-183951-1

本体 ¥1,160+税



### 不穏な眠り(文春文庫 わ 10-6)

若竹 七海 著  
文藝春秋

相続で引き継いだ家に居座り、死んだ女の知人を探して欲しいという依頼を受けた葉村晶。女を連れ込んだ男も家出し…。表題作など全4話を収録。満身創痕のタフで不運な女探偵・葉村晶シリーズ。『オール讀物』掲載を文庫化。

朝日新聞 2020/01/25

2019:12./ 253p

978-4-16-791398-4

本体 ¥650+税



### さあ、熱いうちに食べましょう～料理エッセイ集～

入江 麻木 著  
河出書房新社

イースターに食べるロシア風パンケーキ、ビーツをたっぷり入れた赤い赤いボルシチ、幼いころのコロッケ屋さんごっこ…。本場仕込みのセンスと温かい人柄で女性の憧れだった料理家のエッセイを初集成。小澤征良の寄稿も収録。

朝日新聞 2020/01/25

2019:11./ 200p

978-4-309-02839-2

本体 ¥1,700+税



### ヒエロニムス・ボス～奇想と驚異の図像学～

神原 正明 著  
勁草書房

ネーデルランドに生まれた奇想の画家ヒエロニムス・ボス。その謎に満ちた造形を、従来の説を紹介しつつも、図像学を駆使して独自の解説に挑む。隠し込まれた幾何学的思考を文字と数字のシンボリズムとして解明する。

朝日新聞 2020/01/25

2019:11./ 7p,558p

978-4-326-80061-2

本体 ¥9,500+税



### 魂問答

清原 和博、鈴木 泰堂 著  
光文社

なぜ、堕ちたのか。今、目指すべき場所はどこにあるか。罪を悔いながら薬物依存、うつ病とたたかう日々。最愛の母の死。離別した子供達への想い…。清原和博が、最も信頼する僧侶との対話から、生きる意味を考える懺悔録。

朝日新聞 2020/01/25

2019:12./ 189p

978-4-334-95131-3

本体 ¥1,300+税





### アフガニスタンの診療所から(ちくま文庫)

中村 哲 著  
筑摩書房

幾度も戦乱の地となり、貧困、内乱、難民、人口・環境問題、宗教対立等に悩むアフガニスタンとパキスタンで、ハンセン病治療に全力を尽くす中村医師。氏と支援団体による現地に根ざした実践から、真の国際協力のあり方が見えてくる。

2005:2./ 221p  
978-4-480-42053-4

本体 ¥740+税



朝日新聞 2020/01/25



### 奇術探偵曾我佳城全集<上>(創元推理文庫 M あ 1-14)

泡坂 妻夫 著  
東京創元社

若くして引退した美貌の奇術師・曾我佳城は、不可思議な事件の謎を鮮やかに解く名探偵。上は、殺人事件の被害者が死の間際、天井にトランプを貼りつけた理由を解き明かす「天井のとらんぷ」をはじめ、珠玉の 11 編を収録する。

2020:1./ 463p

978-4-488-40224-2

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2020/01/25



### 奇術探偵曾我佳城全集<下>(創元推理文庫 M あ 1-15)

泡坂 妻夫 著  
東京創元社

若くして引退した美貌の奇術師・曾我佳城は、不可思議な事件の謎を鮮やかに解く名探偵。下は、雪に囲まれた温泉宿で起きた、「足跡のない殺人」の謎を解く「ミダス王の奇跡」をはじめ、珠玉の 11 編を収録する。

2020:1./ 505p

978-4-488-40225-9

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2020/01/25



### ちび竜

童心社

小さな粒から生まれたちび竜は、ボウフラ、たんぽぽ、もぐらなどいろいろな生き物に出会い、風や水や土と仲良くなっていく。神通力も使えるようになり、やがてでかくなつたちび竜は光る青い地球を抱いて…。ワイドページあり。

2019:12./ 39p

978-4-494-01246-6

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/01/25



### 故郷の味は海をこえて〜「難民」として日本に生きる〜(ポプラ社ノンフィクション 平和 37)

安田 菜津紀 著  
ポプラ社

彼らはなぜ、国を離れなくてはならなかったのか。日本に暮らす難民が、故郷の料理をふるまいながら語ってくれたことを紹介。彼らのたどってきた道のりをひもとく。Q&A も収録。ウェブサイト『論座』連載を加筆し書籍化。

2019:11./ 231p

978-4-591-16420-4

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/01/25



### 分かれ道〜ユダヤ性とシオニズム批判〜

ジュディス・バトラー、大橋 洋一、岸 まどか 著  
青土社

ユダヤ人であることと、シオニズムを批判することは両立しえないのか。現代を代表する思想家が、ユダヤ性とは何かを徹底的に主題化しつつ、パレスチナ・イスラエル問題の核心にせまる。

2019:11./ 488p,8p

978-4-7917-7079-3

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2020/01/25



**私は本屋が好きでした～あふれるヘイト本、つくって売らざるまでの舞台裏～**

永江 朗 著

太郎次郎社エディタス

仕事だからつくる。配本が多いから書店は平積みする。しくみに忠実な労働が「ヘイト本」を生んだ。見て見ぬふりでつくり上げられてきた“憎悪の棚”を直視し、書店と出版の仕事の実像を明らかにする。

2019:11./ 251p

978-4-8118-0839-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/01/25



**ベルク「風土学」とは何か～近代「知性」の超克～**

オギュスタン・ベルク、川勝 平太 著

藤原書店

和辻哲郎「風土」を継承し、地理学者ベルクが提唱した、環境と人間の不可分の関係に根差す存在論「風土学」とは何か。歴史家・川勝平太が、21世紀の「共生」を問う根本思想としての「風土学」を徹底的に解き明かす。

2019:11./ 287p

978-4-86578-248-6

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2020/01/25



**医者井戸を掘る～アフガン早魃との闘い～**

中村 哲 著

石風社

とにかく生きておれ。病気は後で治す。パキスタン・アフガニスタンで17年間診療を続ける医師が、日本の青年達とともに、アフガン人700人を指揮して千の井戸を掘る、感動のドキュメント。蓮岡修「現地活動報告」つき。

2001:10./ 283p

978-4-88344-080-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/01/25



**「小児性愛」という病～それは、愛ではない～**

斉藤 章佳 著

ブックマン社

150人を超える小児性犯罪者に関わってきた著者が、データをもとに、子どもに性加害をくり返す者はどんな人物であり、どのような背景があるかを探る。その病理に光を当て、加害行為を“やめ続ける”ための方法を解説する。

2019:11./ 294p

978-4-89308-926-7

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/01/25



**四隣人の食卓(Woman's Best 10/韓国女性文学シリーズ 7)**

ク ビョンモ 著

書肆侃侃房

「入居10年以内に子供を3人もうける」というミッションがある国家が建設した集合住宅に、4組の夫婦が入居し…。奇抜な設定で「共同保育」「家事労働」「労働格差」など韓国社会のホットで深刻な現実を描き出す。

2019:10./ 195p

978-4-86385-382-9

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2020/01/05



**学生たちの牧歌～1967-1968～**

中村 桂子 著

幻戯書房

学生運動が盛んだった時代、すべてを見届けようと無色であろうとした女子学生を通して描いた、デモ、恋、ノンセクトラジカル。表題作ほか、「どしゃ降り」「厄年」「足の記憶」など全5編を収録する。『朝』他掲載を書籍化。

2019:9./ 289p

978-4-86488-177-7

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2020/01/05



### 宇宙から帰ってきた日本人～日本人宇宙飛行士全 12 人の証言～

稲泉 連 著  
文藝春秋

日本の社会で生まれ育ち、その風土を背景に持つ日本人宇宙飛行士は、自身の体験をどのようなものとして持ち帰ったのか。秋山豊寛から金井宣茂まで歴代 12 人の日本人宇宙飛行士に取材し、その宇宙体験を明らかにする。

2019:11./ 255p  
978-4-16-391107-6

本体 ¥1,650+税



東京・中日新聞 2020/01/05、朝日新聞 2020/01/11、産経新聞 2020/01/26



### 証言 治安維持法～「検挙者 10 万人の記録」が明かす真実～(NHK 出版新書 607)

NHK「ETV 特集」取材班 著  
NHK出版

大正末期の 1925 年に制定された治安維持法。当事者や遺族の生々しい証言と、公文書に記載された検挙者数のデータから、治安維持法が運用された 20 年間を検証する。NHK「ETV 特集」を書籍化。

2019:11./ 266p  
978-4-14-088607-6

本体 ¥900+税



東京・中日新聞 2020/01/05、朝日新聞 2020/01/18



### 小さな場所

東山 彰良 著  
文藝春秋

台北の紋身街は、世界中のどの街にも必ず 1 本はあるだろう小汚くて猥雑な通り。不思議な大人たちに囲まれて「ぼく」はそこで生きる…。台湾の原風景を少年の目で綴る。『オール讀物』掲載を加筆し書籍化。

2019:11./ 234p  
978-4-16-391121-2

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2020/01/12



### 岸辺のない海 石原吉郎ノート

郷原 宏 著  
未来社

極寒の地シベリアに 8 年にわたって抑留され、苛酷な労働と非人間的な強制収容所生活で人間の本質と死を見とどけた伝説の詩人・石原吉郎の評伝。『季刊未来』連載に参考文献と詳細な年譜を追加して単行本化。

2019:11./ 329p  
978-4-624-60123-2

本体 ¥3,800+税



東京・中日新聞 2020/01/12



### 経済学のパラレルワールド～入門・異端派総合アプローチ～

岡本 哲史、小池 洋一 著  
新評論

経済学の「異端」学説のエッセンスを、各分野の最先端研究をリードする執筆陣が分かりやすく解説。初級経済学・ゼミのテキストにも使える、異端派経済学の入門書。内橋克人・佐野誠の対談も収録。

2019:11./ 522p  
978-4-7948-1140-0

本体 ¥3,500+税



東京・中日新聞 2020/01/12



### 出雲神話論

三浦 佑之 著  
講談社

なぜ古事記にだけ出雲神話があるのか？「国譲り神話」と称される「滅びの物語」にはなにが隠されているのか？出雲の神がみの物語を古事記神話全体の枠組みの中で読み解き、古代の日本列島の世界を明らかにする。

2019:11./ 661p  
978-4-06-517752-5

本体 ¥3,600+税



東京・中日新聞 2020/01/12、日本経済新聞 2020/01/18



**ウォーキングの科学～10歳若返る、本当に効果的な歩き方～(ブルーボックス B-2113)**

能勢 博 著

講談社

豊富な科学的エビデンスから、持久力、筋力の向上をもたらす歩き方、時間、頻度が導き出された! 忙しい人でも、運動嫌いの人でも、膝や腰が痛くても、リハビリ中でも応用できる画期的な「インターバル速歩」を徹底解説する。

東京・中日新聞 2020/01/19

2019:10./ 233p

978-4-06-517667-2

本体 ¥900+税



**なあさんの1分極伸びストレッチ～生活の質が感動的に上がる～**

なあさん 著

大和書房

この上なくシンプルなのに効果抜群! 解剖学を熟知したストレッチトレーナーが、身体あらゆる悩みを解消する「1分極伸びストレッチ」を、肩や首など部位別に紹介。動画が見られるQRコード付き。本体は背表紙なし糸綴じ。

東京・中日新聞 2020/01/19

2019:10./ 111p

978-4-479-78487-6

本体 ¥1,300+税



**北斎～十八世紀の日本美術～(東洋文庫 897)**

エドモン・ド・ゴンクール 著

平凡社

数え 90歳という長寿を誇り、死の間際まで制作し続けた画狂人北斎。日本美術愛と美術史家的洞察を持つ19世紀フランスの文豪が、江戸を代表する天才絵師・北斎の全容を物語る。

東京・中日新聞 2020/01/19

2019:11./ 370p

978-4-582-80897-1

本体 ¥3,200+税



**深夜高速バスに100回ぐらい乗ってわかったこと**

スズキ ナオ 著

スタンド・ブックス

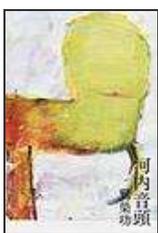
考え次第で、なんでもない日々を少しぐらいは楽しいものにすることができる。若手飲酒シーンの大本命、スズキナオの初単著となるエッセイ集。「銭湯の鏡に広告を出した話」「大人の休日、動物園飲み」など全29編収録。

東京・中日新聞 2020/01/19

2019:11./ 323p

978-4-909048-06-6

本体 ¥1,720+税



**河内音頭(ele-king books)**

鷺巣 功 著

Pヴァイン

日本固有のビート感覚。たくましいエネルギーに満ちた西洋の模倣ではない“音楽”がこの国にはある! 洋楽で育った著者が「河内音頭」に衝撃を受けて40年。河内音頭の歴史と背景を説き、日本の音楽文化論に一石を投じる。

東京・中日新聞 2020/01/19

2019:12./ 297p

978-4-909483-44-7

本体 ¥3,000+税



**「奴隷」になった犬、そして猫**

太田 匡彦 著

朝日新聞出版

減ったとはいえ、いまだにおよそ5万匹もの犬猫が全国で殺処分されている。猫ブームの裏側、生体販売の問題点、動物愛護議員連盟の取り組み、「改正動物愛護法」成立の舞台裏などを詳述する。

東京・中日新聞 2020/01/26

2019:11./ 409p,33p

978-4-02-251656-5

本体 ¥1,500+税





**日本プラモデル世界との激闘史～アメリカを駆逐した日本ブランドに、新興勢力が強襲し始めた!～**

西花池 湖南 著  
河出書房新社

1970年代、アメリカからプラモデル界のトップの座を奪い、覇権を握った日本メーカー。そしていま、中国や東欧といった新興勢力の伸長が著しい。さまざまな優品から、数々のメーカーの盛衰を読み解く。

東京・中日新聞 2020/01/26

2019:11./ 215p  
978-4-309-25645-0

本体 ¥1,600+税



**毒薬の手帖～クロロホルムからタリウムまで 捜査官はいかにして毒殺を見破ることができたのか～**

デボラ・ブラム、五十嵐 加奈子 著  
青土社

法医学が誕生した 1920年代のアメリカ。その立役者となった法医学者ノリスと毒物学者ゲトラーのひたむきな努力と、彼らが解決に導いた毒殺事件、その背景にあるアメリカ社会の様相を描いたノンフィクション。

東京・中日新聞 2020/01/26

2019:12./ 385p,2p  
978-4-7917-7239-1

本体 ¥2,600+税



**シヤム双子の秘密(角川文庫 ク19-11)**

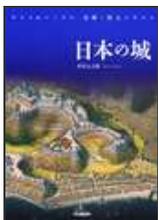
エラリー・クイーン 著  
KADOKAWA

山火事に遭遇し身動きが取れなくなったクイーン父子は、ゼイヴィア博士の屋敷に泊まらせてもらうことに。しかし翌朝、博士の射殺体が発見される。右手の指には半分がちぎれたトランプが挟まっています…。国名シリーズ第7弾。

読売新聞 2020/01/05

2014:10./ 437p  
978-4-04-101455-4

本体 ¥760+税



**日本の城～ワイド&パノラマ鳥瞰・復元イラスト～**

香川 元太郎 著  
学研

城郭イラストの第一人者が、在りし日の城の姿をよみがえらせる!『歴史群像』などに掲載された精密な鳥瞰・復元イラストを折込ページに大きく掲載し、監修者らによる解説を併録する。

読売新聞 2020/01/05

2018:6./ 230p  
978-4-05-406640-3

本体 ¥3,400+税



**中世ヨーロッパの城の生活(講談社学術文庫)**

ジョゼフ・ギース/フランシス・ギース 著  
講談社

ウェールズ東南端の古城チェプストーン城を例に挙げ、年代記、裁判記録、家計簿など豊富な資料を駆使し、中世の人々の生活実態と「中世」の全体像を描き出す。

読売新聞 2020/01/05

2005:6./ 297p  
978-4-06-159712-9

本体 ¥1,050+税



**中世の罪と罰(講談社学術文庫 2588)**

網野 善彦/石井 進/勝俣 鎮夫/笠松 宏至 著  
講談社

盗みは死罪、悪口は流罪、文書偽造は顔に焼き印…。荒々しく理不尽にも見える中世人の法意識とは。中世史研究の黄金時代を築いた4人の大家による10篇の珠玉の論考を収録した伝説的名著。桜井英治による解説も収録。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 291p  
978-4-06-517869-0

本体 ¥1,150+税





**墮ちた英雄〜「独裁者」ムガベの37年〜(集英社新書 0993)**

石原 孝 著  
集英社

超長期政権、容赦ない粛清、ハイパーインフレ…。人種差別闘争の英雄はなぜ、独裁者となったのか。盤石の体制はなぜ、唐突な終焉を迎えたのか。徹底取材で元ジンバブエ大統領ムガベの実相に迫り、その世界史的意味を探る。

読売新聞 2020/01/05

2019:10./ 254p  
978-4-08-721093-4

本体 ¥860+税



**トヨタミの野望〜小説・巨大自動車企業〜(小学館文庫 か 52-1)**

梶山 三郎 著  
小学館

愛知県豊臣市に本社を構える世界的企業、トヨタ自動車。創業家とはなんの関係もないサラリーマン社長・武田は、その豪腕で世界に先駆けてハイブリッドカーの量産に挑戦し…。世界と戦う企業の経済戦争を描いたフィクション。

読売新聞 2020/01/05

2019:10./ 515p

978-4-09-406702-6

本体 ¥850+税



**パワースポットはここですね**

高橋 秀実 著  
新潮社

パワーがもらえるから「パワースポット」ではなく、「パワースポット」だからパワーがもらえる!? 千貫森、有馬療養温泉、神宮など、各地の「そこ」を訪ね感じた、日本人のココロの深層。『新潮 45』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2020/01/05

2019:10./ 267p

978-4-10-473806-9

本体 ¥1,500+税



**日本列島回復論〜この国で生き続けるために〜(新潮選書)**

井上 岳一 著  
新潮社

「寅さん」とともに東京から失われたものとは。「先祖還り」する若者達が探しているものとは。自然、歴史、コミュニティ、テクノロジーを総動員して、まったく新しいSDGs、イノベーションの思想を構築する。

読売新聞 2020/01/05

2019:10./ 303p

978-4-10-603847-1

本体 ¥1,400+税



**ドル・人民元・リブラ〜通貨でわかる世界経済〜(新潮新書 837)**

中條 誠一 著  
新潮社

物の取引のツールだった通貨が、逆に経済全体を動かすようになってしまった現在。ドル、ユーロ、人民元、円など実際に流通する通貨や、リブラなど仮想通貨の現状を平易に分析し、お金の側から眺めた世界経済の構造を伝える。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 187p

978-4-10-610837-2

本体 ¥720+税



**海を渡ったスキヤキ〜アメリカを虜にした和食〜**

グレン・サリバン 著  
中央公論新社

家政学者が惚れ込んだジャパニーズ・サンドウィッチって? スパムむすび誕生秘話とは? スキヤキ、寿司、鉄板焼きなど、驚愕され、注目され、嫌われて、大人気になった、アメリカの「和食」の知られざるエピソードが満載。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 238p

978-4-12-005250-7

本体 ¥2,000+税





**グランドシャトー**

高殿 円 著  
文藝春秋

ねえさんのため、このキャバレーは潰させない。昭和から平成、時代を超えて 2 人のホステスが織りなす、温かくも切ない大阪キャバレー物語。『産経新聞』大阪本社発行版、『別冊文藝春秋』掲載を加筆し書籍化。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 309p  
978-4-16-391122-9  
本体 ¥1,600+税



**近衛文麿と日米開戦～内閣書記官長が残した『敗戦日本の内側』～(祥伝社新書 590)**

富田 健治、川田 稔 編  
富田 健治 著  
祥伝社

近衛内閣の内閣書記官長・富田健治が記した「敗戦日本の内側-近衛公の思い出」。そこには、開戦へと至る過程での苦悩や生々しい発言が綴られていた。昭和史研究の第一人者が、貴重な記録を読み解く。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 511p  
978-4-396-11590-6  
本体 ¥1,300+税



**家族最初の日(ちくま文庫 う43-1)**

植本 一子 著  
筑摩書房

月給 16 万 5 千、家賃 11 万。生活してこられたのが、不思議でしようがない…。27 歳写真家の妻と 51 歳ラッパーの夫、娘 2 人、猫 3 匹のドタバタ生活を家計簿つきで綴る。大幅に増補して文庫化。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 367p 図版  
16p  
978-4-480-43627-6  
本体 ¥980+税



**ダイエット幻想～やせること、愛されること～(ちくまプリマー新書 336)**

磯野 真穂 著  
筑摩書房

モテたいから? 選ばれたいから? 「やせたい」動機は様々だけど、そのせいで生きづらくなっていませんか? 「食べる」と「生きる」をあらためて見つめなおす一冊。

読売新聞 2020/01/05

2019:10./ 223p  
978-4-480-68361-8  
本体 ¥840+税



**屍人荘の殺人(創元推理文庫 M い12-1)**

今村 昌弘 著  
東京創元社

神紅大学ミステリ愛好会の葉村譲と明智恭介は、日くつきの映画研究部の夏合宿に加わるため、紫湛荘を訪ねた。その夜、想像しえない事態に遭遇し紫湛荘に立て籠もった彼らだが、翌日部員の 1 人が密室で死体となって発見され…。

読売新聞 2020/01/05

2019:9./ 381p  
978-4-488-46611-4  
本体 ¥740+税



**野食ハンターの七転八倒日記**

茸本 朗 著  
平凡社

野外で採取してきた食材を普段の食卓に活用する「野食」をライフワークとする著者が、失敗体験エピソードを紹介しつつ、野食材や食べ方などを紹介する。ウェブメディア『cakes』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2020/01/05

2019:11./ 247p  
978-4-582-63224-8  
本体 ¥1,400+税





**戦国の城の一生～つくる・壊す・蘇る～(歴史文化ライブラリー 475)**

竹井 英文 著  
吉川弘文館

戦国期の城は、いつ誰の手で築かれ、いかに使われて廃城となったのか。築城技術やメンテナンス、廃城後の「古城」の再利用など、史料を博搜し読み解き、「城の使われ方」から戦争や城郭の実態を考えるヒントを与える。

2018:10./ 6p,206p  
978-4-642-05875-9

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/01/05



**城～山下茂樹写真集～**

山下 茂樹 著  
求龍堂

当時のまま何百年も生き抜いた天守、険しい山中の城跡、主人なき今の世に復刻され当時の姿を見せる城。大阪城、姫路城、竹田城、長浜城など、歴史ロマンのある城の姿を収めた写真集。

2014:2./ 63p

978-4-7630-1424-5

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2020/01/05



**バンド**

クリープハイプ、木村 俊介 著  
ミシマ社

メンバー脱退、解散の危機、レーベル移籍、炎上、歌えない・演奏できない身体…。尾崎世界観がフロントマンを務める 4 ピースバンド・クリープハイプが、「苦闘の10年」を初めて明かす。

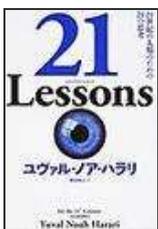
2019:10./ 375p

978-4-909394-27-9

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2020/01/05



**21 Lessons～21世紀の人類のための21の思考～**

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著  
河出書房新社

“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している 21 の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

2019:11./ 466p

978-4-309-22788-7

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/01/05、産経新聞 2020/01/19、東京・中日新聞 2020/01/19



**音楽で生きていく!～10人の音楽家と語るこれからのキャリアデザイン～**

青柳 いづみこ 著  
アルテスパブリッシング

夢を実現し、成功を勝ちとるには、どんな戦略が必要だったのか? 既成の概念にとられない活動を展開している 10 人の若手音楽家が、ピアニスト/文筆家として活躍する著者に「本音のキャリア論」を明かす。

2019:11./ 309p

978-4-86559-211-5

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/01/05、日本経済新聞 2020/01/18



**全盲の弁護士 竹下義樹(岩波現代文庫 社会 317)**

小林 照幸 著  
岩波書店

点字の六法全書もない状況から、司法試験の点字受験を実現させ、日本初の合格者となった竹下義樹。盲人のかかえるハンディキャップを乗り越え、社会的弱者のために闘う弁護士の挑戦の記録。

2019:12./ 7p,421p

978-4-00-603317-0

本体 ¥1,220+税



読売新聞 2020/01/12



**俳句は入門できる(朝日新書 742)**

長嶋 有 著  
朝日新聞出版

いつでも、だれでも入門できる俳句。小説家であり俳人でもある著者が、俳号、季語、俳句界の独特な空気や不思議なルールなどについて語る。『LIKE THIS』連載を改稿し、書き下ろしを加える。

読売新聞 2020/01/12

2019:12./ 210p  
978-4-02-295049-9  
本体 ¥790+税



**私の家では何も起こらない(角川文庫 お 48-7)**

恩田 陸 著  
KADOKAWA

小さな丘に佇む古い洋館。この家でひっそりと暮らす女主人の許に、本物の幽霊屋敷を探しているという男が訪れた。男は館に残された、かつての住人たちの痕跡を辿り始め…。驚愕のラストが待つ、恐怖と叙情のクロニクル。

読売新聞 2020/01/12

2016:11./ 208p  
978-4-04-104640-1  
本体 ¥560+税



**冷たい校舎の時は止まる<上>(講談社文庫)**

辻村 深月 著  
講談社

雪降るある日、いつも通りに登校したはずの学校に閉じ込められた 8 人の高校生。凍りつく校舎の中、2 ヶ月前の学園祭の最中に死んだ同級生のことを思い出す。でもその顔と名前がわからない。どうして忘れてしまったんだろう。

読売新聞 2020/01/12

2007:8./ 591p  
978-4-06-275822-2  
本体 ¥850+税



**冷たい校舎の時は止まる<下>(講談社文庫)**

辻村 深月 著  
講談社

なぜ「ホスト」は私たちを閉じ込めたのか。担任教師・榊はどこへ行ったのか。白い雪が降り積もる校舎にチャイムが鳴ったその時、止まったはずの時計が動き出した。薄れていった記憶、その理由は。

読売新聞 2020/01/12

2007:8./ 581p  
978-4-06-275823-9  
本体 ¥850+税



**黙殺～報じられない“無頼系独立候補”たちの戦い～(集英社文庫 は 51-1)**

島山 理仁 著  
集英社

メディアに取り上げられないまま選挙に敗れた「無頼系独立候補」。何度敗れても、また新たな選挙に挑む底抜けに明るい候補者たちの戦いをまとめる。単行本刊行後のマック赤坂や、N 国・立花孝志を追ったあとがきを追加。

読売新聞 2020/01/12

2019:11./ 374p  
978-4-08-744049-2  
本体 ¥780+税



**左岸<上>(集英社文庫 え 6-11)**

江國 香織 著  
集英社

仲の良い両親と兄・惣一郎、幼なじみの九に囲まれて育った茉莉。だが惣一郎の死をきっかけに、幸せな子供時代は終わりを告げる。茉莉は 17 歳で駆け落ちし、東京へ向かう…。同時刊行の辻仁成「右岸」と対をなす愛の大長篇。

読売新聞 2020/01/12

2012:2./ 516p  
978-4-08-746795-6  
本体 ¥750+税





**左岸<下>(集英社文庫 え 6-12)**

江國 香織 著  
集英社

夫を事故で失い、娘と福岡からパリ、東京へと移り住む茉莉。男たちと交際しつつも、九といつもどこかでつながっていた。やがて福岡に戻ると、不思議な運命が待ち受けていて…。同時刊行の辻仁成「右岸」と対をなす愛の大長篇。

2012:2./ 494p  
978-4-08-746796-3  
本体 ¥750+税



読売新聞 2020/01/12



**キッドの運命**

中島 京子 著  
集英社

突然あの女があらわれたのは、雷鳴が鳴り響き、雹がばらばら降った日だった。しかも、あろうことか彼女は海からやってきたのだ。表題作ほか全 6 編を収録した近未来小説集。『小説すばる』掲載を加筆・修正し単行本化。

2019:12./ 211p  
978-4-08-771688-7  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/01/12



**学問(新潮文庫 や-34-16)**

山田 詠美 著  
新潮社

「私ねえ、欲望に忠実なの。愛弟子と言ってもいいね」4 人の少年少女たちの、生と性の輝き。いつもそこにある、かすかな死の影。高度成長期の海辺の街を舞台に、若者たちが過ごした時間を官能的な言葉で描く長編小説。

2012:3./ 369p  
978-4-10-103626-7  
本体 ¥630+税



読売新聞 2020/01/12



**ショパンゾンビ・コンテスト**

町屋 良平 著  
新潮社

おれは音楽の、お前は文学のひかりを浴びて、腐ろう。ゾンビになろう。音大を中退したぼくは、魔法のようなピアノを奏でる同級生に恋をしていて…。才能と絶望と恋と友情をめぐる青春小説。『新潮』掲載を単行本化。

2019:10./ 190p  
978-4-10-352272-0  
本体 ¥1,450+税



読売新聞 2020/01/12



**文壇放浪(中公文庫 み 10-24)**

水上 勉 著  
中央公論新社

京都の禅寺での少年時代を経て、作家を目指して上京後、小さな出版社を渡り歩き、直木賞作家になった水上勉。自身の波乱に富んだ半生を振り返りながら、様々な作家を回想する。戦中・戦後の出版界が生き生きと描かれた一冊。

2019:12./ 278p  
978-4-12-206816-2  
本体 ¥840+税



読売新聞 2020/01/12



**わたしのシベリア抑留**

小柳 ちひろ 著  
文藝春秋

従軍看護婦、電話交換手、民間人…。1000 人近い日本人女性がシベリアに抑留されていた! 70 年以上の沈黙を破り、捕虜だった女性たちが初めて証言したノンフィクション。NHK BS1 スペシャルをもとに書籍化。

2019:12./ 319p  
978-4-16-391143-4  
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/01/12



### 約束された移動

小川 洋子 著  
河出書房新社

ハリウッド俳優 B の泊まった部屋からは、決まって 1 冊の本が抜き取られていた。B からの無言の合図を受け取る客室係。こうして書棚の秘密はふたりだけのものになった…。6 篇を収録した短篇集。『文藝』ほか掲載を書籍化。

2019:11./ 211p  
978-4-309-02836-1  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/01/12



### 学校に入り込むニセ科学(平凡社新書 925)

左巻 健男 著  
平凡社

「水からの伝言」、EM 菌、ゲーム脳、親学、白砂糖有害説…。教員や生徒の善意を利用して勢力拡大を目論むニセ科学。その危険性に警鐘を鳴らしてきた第一人者が、学校に侵入する怪しげなニセ科学を一刀両断。

2019:11./ 246p  
978-4-582-85925-6  
本体 ¥840+税



読売新聞 2020/01/12



### 阿倍仲麻呂(人物叢書 新装版 通巻 298)

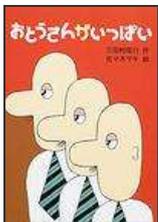
日本歴史学会 編  
森 公章 著  
吉川弘文館

奈良時代初期に遣唐留学生として唐に渡り、玄宗皇帝に仕え、ついに帰国することなく生涯を閉じた阿倍仲麻呂。異国の官人として出世した特異な境遇を冷静に見つめ、日唐関係史のなかに位置づける。

2019:12./ 14p,232p  
978-4-642-05291-7  
本体 ¥2,100+税



読売新聞 2020/01/12



### おとうさんがいっぱい(新・名作の愛蔵版)

三田村 信行、佐々木 マキ 著  
理論社

ある時突然、全国的にどのうちでもお父さんが 5~6 人にふえた。それぞれ自分が本物だというので、こまった政府は…。表題作を含めた 5 話の不思議で恐い物語。日本児童文学のロングセラーをリニューアルするシリーズ。

2003:2./ 206p  
978-4-652-00514-9  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/01/12



### お勝手のあん<1>(ハルキ文庫 時代小説文庫 し 4-3)

柴田 よしき 著  
角川春樹事務所

品川宿の老舗宿屋「紅屋」を営む吉次郎が、その類いまれな嗅覚の才に気づき、お勝手女中見習いとなったおやす。ひとつひとつの素材や料理に心を込め、おやすは一生懸命成長していく。『ランティエ』連載を加筆修正し文庫化。

2019:12./ 308p  
978-4-7584-4307-4  
本体 ¥680+税



読売新聞 2020/01/12



### コラプション~なぜ汚職は起こるのか~

レイ・フィスマン、ミアム・A.ゴールドデン、山形 浩生、守岡 桜 著  
慶應義塾大学出版会

政治学者と経済学者が協力して「コラプション(腐敗・汚職)」をわかりやすく解説し、「汚職の構造」を明らかにする。世界のさまざまな腐敗・汚職の実証データ、分析ツールも提供する。

2019:10./ 9p,366p  
978-4-7664-2626-7  
本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/01/12

**出版文化と編集者の仕事～個人的な体験から～(SQ 選書 18)**大竹 永介 著  
社会評論社

編集者とはどういう仕事か。そもそも出版とは。新人作家を担当する面白さ。企画を通すまでの苦労…。吉田まゆみ、大和和紀らを担当した編集者生活をふりかえり、具体的なエピソードを通して体験的編集者論を語る。

2019:10./ 221p  
978-4-7845-1747-3

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2020/01/12

**丸山真男と戦後民主主義**清水 靖久 著  
北海道大学出版会

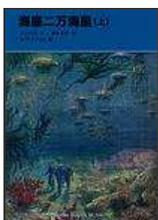
丸山真男は 1960 年代末の東大紛争で直面した困難にどのように応えようとしたのか。戦後日本で民主主義を説いた丸山の多岐な歩みを思想的に明らかにし、破滅的な戦争から再出発した日本のデモクラシーを考える。

2019:11./ 4p,321p,9p  
978-4-8329-6862-2

本体 ¥2,900+税



読売新聞 2020/01/12

**海底二万海里<上>(福音館文庫)**J.ベルヌ 著  
福音館書店

海上で「なにかばかでかいもの」に出会ったという報告が次々になされた。追跡してみると、それはネモ艦長の潜水艦ノーチラス号だった。1973 年刊の再刊。

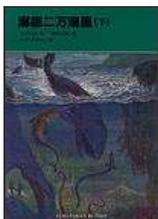
2005:5./ 371p

978-4-8340-2093-9

本体 ¥750+税



読売新聞 2020/01/12

**海底二万海里<下>(福音館文庫)**J.ベルヌ 著  
福音館書店

囚われの身となった 3 人の男とネモ艦長をめぐる、緊張したドラマが展開。読者は神秘に充ちた驚異的な未知の海底世界へ導かれてゆく。1973 年刊の再刊。

2005:5./ 426p

978-4-8340-2094-6

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/01/12

**戦後のあだ花カストリ雑誌**渡辺 豪 著  
三オブックス

戦後のわずかな期間に流行した、悪趣味で低俗、低品質なカストリ雑誌たち。創刊号 117 誌の表紙、代表的なカストリ雑誌の誌面、戦後初の発禁処分「H 大佐夫人」などを掲載する。

2019:9./ 175p

978-4-86673-146-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2020/01/12

**メキシコ DF～テキストとしての都市～**柳原 孝敦 著  
東京外国語大学出版会

ボラーニョ、ガルシア＝マルケス、ブニユエル、トロツキー、大江健三郎…、幾多の文献・映像資料を渉猟しながら、メキシコ DF に迷い込む。時空を超え、過去を幻視しつつ、&lt;都市の現在&gt;を無尽に語る、紀行文学的都市論。

2019:11./ 263p

978-4-904575-78-9

本体 ¥1,900+税



読売新聞 2020/01/12



**古典は本当に必要なのか、否定論者と議論してみた。**

勝又 基 編  
猿倉 信彦 著  
文学通信

古典否定派はどのような論陣を張ったのか。肯定派はどう反論したのか。古典否定派・肯定派の研究者が集まって論戦に挑んだ、2019年1月のシンポジウム「古典は本当に必要なのか」を完全再現。仕掛け人による総括も収録。

読売新聞 2020/01/12

2019:9./ 217p  
978-4-909658-16-6  
本体 ¥1,800+税



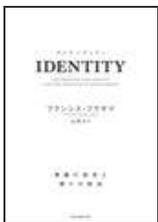
**ベトナムの大地にゴングが響く**

柳沢 英輔 著  
灯光舎

精霊を集める響きと旋律。古くより東南アジアに伝わる体鳴楽器・ゴング。ベトナム少数民族の村々を調査し、ゴング文化と音楽の奥深さをさぐる。著者撮影の映像資料やフィールド録音を視聴できるQRコード付き。

読売新聞 2020/01/12、日本経済新聞 2020/01/18

2019:10./ 11p,311p,6p  
978-4-909992-00-0  
本体 ¥2,700+税



**IDENTITY～尊厳の欲求と憤りの政治～**

フランシス・フクヤマ、山田 文 著  
朝日新聞出版

1992年のベストセラー「歴史の終わり」以後、投げかけられてきた批判に、フクヤマ自らが答える。そして闘争の歴史と政治の刷新を「アイデンティティ」から考察し、民主主義再生への提言を行う。

読売新聞 2020/01/19

2019:12./ 243p,18p  
978-4-02-251606-0  
本体 ¥2,000+税



**まほり**

高田 大介 著  
KADOKAWA

社会学を専攻する大学生の勝山裕は、上州に、蛇の目紋を書いた紙がいたるところに貼られている村があると聞き、昔なじみの香織と調査を始めるが…。膨大な史料から浮かび上がる恐るべき真実とは。長篇民俗学ミステリ。

読売新聞 2020/01/19

2019:10./ 492p  
978-4-04-108559-2  
本体 ¥2,100+税



**懐かしい年への手紙(講談社文芸文庫)**

大江健三郎 著  
講談社

読売新聞 2020/01/19

1992:10./ 640p  
978-4-06-196196-8  
本体 ¥1,700+税



**乳母車/最後の女～石坂洋次郎傑作短編選～(講談社文芸文庫 いAA1)**

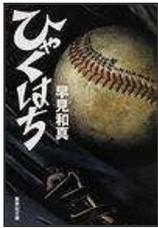
三浦 雅士 編  
石坂 洋次郎 著  
講談社

女子大生・ゆみ子が「不敵な決意」をもって実行した、「絶望的な性質」を有した行為とは。「乳母車」をはじめ、戦後を代表する流行作家が無意識に追い続けた女たちの姿を描いた、名編9作を収録する。

読売新聞 2020/01/19

2020:1./ 276p  
978-4-06-518602-2  
本体 ¥1,900+税





**ひゃくはち(集英社文庫 は 38-1)**

早見 和真 著  
集英社  
読売新聞 2020/01/19

2011:6./ 366p  
978-4-08-746714-7  
本体 ¥580+税



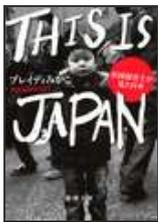
**忍びの滋賀~いつも京都の日陰で~(小学館新書 360)**

姫野 カオルコ 著  
小学館  
多くの人が琵琶湖が何県にあるのか知らない。「千葉」や「佐賀」と間違えられる。比叡山延暦寺は京都にあると思われている。鮎鮨の正しい食し方とは-。おどおどした作家が日本一スルーされる地味な出身県をユーモラスに語る。

2019:12./ 286p  
978-4-09-825360-9  
本体 ¥840+税



読売新聞 2020/01/19



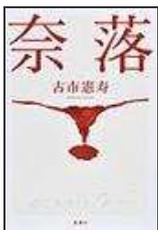
**THIS IS JAPAN~英国保育士が見た日本~(新潮文庫 ふ-57-1)**

ブレイディみかこ 著  
新潮社  
労働する者のプライド、新自由主義保育と社会主義保育、反貧困ネットワークへのくすぶり、どん底の手前の人々…。20年ぶりに1カ月間日本に滞在した英国在住の保育士による東京の取材記。

2020:1./ 282p  
978-4-10-101751-8  
本体 ¥590+税



読売新聞 2020/01/19



**奈落**

古市 憲寿 著  
新潮社  
17年前の夏、人気絶頂の女性シンガー・香織はステージから転落し、築き上げてきたものを全て失った。残ったのは全身不随の身体と鮮明な意識、そして大嫌いな家族だけ-。生と家族の根源を問う作品。『新潮』掲載を単行本化。

2019:12./ 187p  
978-4-10-352692-6  
本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/01/19



**三の隣は五号室(中公文庫 な 74-1)**

長嶋 有 著  
中央公論新社  
傷心のOLが、秘密を抱えた男が、異国の者が、苦学生が、ここにいた。そして全員が去った。それぞれの跡形を残して…。今はもういない者たちの日々。小さな空間に流れた半世紀を描いた、優しく心を揺さぶるアパート小説。

2019:12./ 246p  
978-4-12-206813-1  
本体 ¥640+税



読売新聞 2020/01/19



**大名倒産<上>**

浅田 次郎 著  
文藝春秋  
泰平の世に積もりに積もった大借金に嫌気のさした先代は、縁の薄い末息子に腹を切らせて御家幕引きを謀る。そうとは知らぬ若殿に次々と難題が降りかかり…。『文藝春秋』連載を書籍化。

2019:12./ 351p  
978-4-16-391139-7  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/01/19



**大名倒産<下>**

浅田 次郎 著  
文藝春秋

若殿は倒産阻止を決意するが、家臣共々の努力も焼け石に水。伝家の宝刀「お断り」で借金帳消しの不名誉を被るしかないのか。万策尽きた若殿に、七福神も手助けをし…。『文藝春秋』連載を書籍化。

2019:12./ 348p  
978-4-16-391140-3  
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/01/19



**完本人形佐七捕物帳<1>**

横溝 正史 著  
春陽堂書店

江戸を舞台に、人形のような色男である佐七が繰り広げる推理劇「人形佐七捕物帳」全 180 篇を発表順に集成。解題、解説付き。1 は、「羽子板娘」「座頭の鈴」「稚児地藏」などを収録。

2019:12./ 531p  
978-4-394-19010-3  
本体 ¥4,500+税



読売新聞 2020/01/19



**アリストテレス生物学の創造<上>**

アルマン・マリー・ルロワ、森 夏樹 著  
みすず書房

形態から発生、代謝、分類、老化、情報の継承まで、2400 年を経て蘇る、超人的先駆者の着眼と構想。アリストテレスの生物学的仕事の全貌を鮮やかに描き出し、時代を超えて探求され続ける生物学の精髓を読み解く。

2019:9./ 291p,63p  
978-4-622-08834-9  
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2020/01/19



**アリストテレス生物学の創造<下>**

アルマン・マリー・ルロワ、森 夏樹 著  
みすず書房

形態から発生、代謝、分類、老化、情報の継承まで、2400 年を経て蘇る、超人的先駆者の着眼と構想。アリストテレスの生物学的仕事の全貌を鮮やかに描き出し、時代を超えて探求され続ける生物学の精髓を読み解く。

2019:9./ p294?586 35p  
978-4-622-08835-6  
本体 ¥3,800+税



読売新聞 2020/01/19



**「黄色いベスト」と底辺からの社会運動～フランス庶民の怒りはどこに向かっているのか～**

尾上 修悟 著  
明石書店

フランスの一般市民とりわけ庶民階級を中心に、前代未聞の社会的抗議運動を展開した黄色いベスト運動。その詳細な経緯を辿りながら背景を検討し、同運動が何を意味しているのか、そこから何を学ぶべきかを考察する。

2019:12./ 194p  
978-4-7503-4951-0  
本体 ¥2,300+税



読売新聞 2020/01/19



**中央駅**

キム ヘジン、生田 美保 著  
彩流社

ホームレスに転落した若い男は、駅前に流れ着いてまもなく、全財産といえるカバンを同じくホームレスの女に盗まれてしまい…。ホームレスがたむろする中央駅を舞台に、どん底に墮とされた男女の哀切な愛を描き出す長編小説。

2019:11./ 302p  
978-4-7791-2611-6  
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/01/19



**対論!生命誕生の謎(インターナショナル新書 047)**

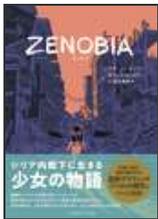
山岸 明彦、高井 研 著  
集英社インターナショナル

地球最初の生命が生まれたのは、「深海の熱水噴出孔」か? 「陸上の温泉」か? まったく異なる説を唱える 2 人が、生命の起源や進化の謎、地球外生命探査について激しく論じ合い、生命の本質に迫る。

読売新聞 2020/01/19

2019:12./ 187p  
978-4-7976-8047-8

本体 ¥800+税



**ゼノビア**

モーテン・デュアー 著  
サウザンブックス社

シリア内戦の影が迫り、戦火を逃れるため少女アミーナはボートでの脱出を試みるが、荒波で船が転覆してしまう。暗い海の中、アミーナは村での出来事や、シリアの女王ゼノビアのことを思い出す…。北欧グラフィックノベル。

読売新聞 2020/01/19

2019:10./ 98p

978-4-909125-13-2

本体 ¥2,300+税



**痴漢とはなにか～被害と冤罪をめぐる社会学～**

牧野 雅子 著  
エトセトラブックス

なぜ性犯罪がカルチャーとなり、どうして冤罪ばかりが語られるのか。戦後から現在までの雑誌や新聞記事を分析し、これまで痴漢がどう捉えられ、社会の意識がどうつくられてきたかを読みとく。

読売新聞 2020/01/19

2019:11./ 253p

978-4-909910-01-1

本体 ¥2,400+税



**ボランティアをやりたい!～高校生ボランティア・アワードに集まれ～(岩波ジュニア新書 910)**

風に立つライオン基金 編  
岩波書店

少しでも社会を良くしたい。誰かのために役立ちたい! 環境問題や医療・福祉、国際貢献、地域づくり…。「高校生ボランティア・アワード 2019」に参加した高校生達の、アイデアにあふれたボランティア活動を紹介します。

読売新聞 2020/01/26

2019:12./ 12p,187p

978-4-00-500910-7

本体 ¥820+税



**書を捨てよ、町へ出よう 改版(角川文庫)**

寺山 修司 著  
角川書店

平均化された生活なんてくそ食らえ。本も捨て、町に飛び出そう。家出の方法、サッカー、ハイティーン詩集、競馬、ヤクザになる方法…、天才アジテーター・寺山修司の100%クールな挑発の書。

読売新聞 2020/01/26

2004:6./ 332p

978-4-04-131522-4

本体 ¥514+税



**夜の歌<上>(講談社文庫 な 81-3)**

なかにし 礼 著  
講談社

昭和 40 年、心臓発作で入院した日に私はゴーストと出会った。目覚めると、私は満洲の避難列車の中にいた。まるでタイムトラベルのように、少年時代の追体験が始まり…。なかにし礼、人生と音楽の集大成小説。

読売新聞 2020/01/26

2020:1./ 476p

978-4-06-518331-1

本体 ¥860+税





**夜の歌<下>(講談社文庫 な81-4)**

なかにし 礼 著

講談社

満洲での逃避行、朝鮮半島での避難民生活、引き揚げ生活やヒット曲連発の日々、母の不貞、兄との確執…。ゴーストに導かれ、私は自分の過去を行き来し…。なかにし礼、人生と音楽の集大成小説。

2020:1./ 427p

978-4-06-518342-7

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/01/26



**みちづれの猫**

唯川 恵 著

集英社

実家の猫に死期に近いことを母親から知らされ、私は東京から金沢に向かうが…。「ミヤアの通り道」をはじめ、猫に寄り添われ救われてきた女性たちを描く7編の短編集。『小説すばる』等掲載をまとめて単行本化。

2019:11./ 226p

978-4-08-771685-6

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/01/26



**東京島(新潮文庫)**

桐野 夏生 著

新潮社

読売新聞 2020/01/26

2010:4./ 372p

978-4-10-130636-0

本体 ¥630+税



**昔は面白かったな～回想の文壇交友録～(新潮新書 841)**

石原 慎太郎、坂本 忠雄 著

新潮社

小林秀雄や川端康成など、活気にあふれたかつての文壇での交友と逸話の数々、戦前・戦後の忘れがたい情景、現代の文学状況への危惧…。作家・石原慎太郎と文芸編集者・坂本忠雄が、文学と政治、死生まで縦横に語り合う。

2019:12./ 186p

978-4-10-610841-9

本体 ¥720+税



読売新聞 2020/01/26



**高丘親王航海記 新装版(文春文庫 し21-7)**

澁澤 龍彦 著

文藝春秋

貞観 7(865)年正月、高丘親王は唐の広州から海路天竺へ向かった。鳥の下半身をした女、犬頭人の国など、怪奇と幻想の世界を遍歴した親王が、旅に病んで考えたこととは…。夢と現実を旅する奇想天外な物語。

2017:9./ 267p

978-4-16-790925-3

本体 ¥720+税



読売新聞 2020/01/26



**回遊人(徳間文庫 よ24-3)**

吉村 萬壺 著

徳間書店

妻子とのやり取りに行き詰まりを感じて出奔した男は、遺書を書き、ドヤ街で見つけた小さな錠剤を飲む。目覚めると、そこは10年前、結婚前の世界だった。男は人生を選べる幸せを?み縮めていたのだが…。

2020:1./ 283p

978-4-19-894530-5

本体 ¥690+税



読売新聞 2020/01/26



### ちよっと気になる「働き方」の話

権丈 英子 著  
勁草書房

少子高齢化の進行により改革が迫られる日本の労働問題。働きやすい環境づくりを進めるには、何が障害であり、いかにすれば克服できるのか。これからの働き方を考える上での課題を網羅、議論の全容を見渡す。

2019:12./ 13p,303p

978-4-326-70111-7

本体 ¥2,500+税



読売新聞 2020/01/26



### 評伝 獅子文六～二つの昭和～(ちくま文庫 52-1)

牧村 健一郎 著  
筑摩書房

横浜での裕福な子供時代、パリ留学、演劇人、時代を射抜く批評性、大男で食いしん坊、運命的な三度の結婚…。戦前と戦後の<2つの昭和>にときに翻弄され、ときに寄り添った作家・獅子文六の人生を、精細に追いかける。

2019:12./ 347p

978-4-480-43639-9

本体 ¥780+税



読売新聞 2020/01/26



### 雲(海外文学セレクション)

エリック・マコーマック、柴田 元幸 著  
東京創元社

偶然入った古書店で見つけた1冊の本。そこにはある町で起きた黒曜石雲という謎の雲にまつわる奇怪な出来事が書かれていた。その町を訪れたことがある男は、重く苦しい記憶が甦り、自らの亡霊にめぐり会い…。

2019:12./ 461p

978-4-488-01674-6

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2020/01/26



### 幕末～秘蔵古写真～

日本カメラ博物館 著  
山川出版社

黒船来航から遣米・遣欧・岩倉使節団など、海を渡って行き来した人びと、上野彦馬・下岡蓮杖ら写真師が撮った幕末の風景…。日本カメラ博物館が収蔵する約6万点の写真の中から、貴重な写真を多数掲載した古写真集。

2019:4./ 255p

978-4-634-15147-5

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/01/26



### スピノザ<触発の思考>

浅野 俊哉 著  
明石書店

「哲学史上の<異物>」とも称されるスピノザ。その異例の思考を、シュトラウス、アドルノ、バーリン、ネグリ、シュミット、三木清らと対峙させ、思想史の読み替えとオルタナティブな政治哲学の可能性を探る試み。

2019:11./ 381p

978-4-7503-4911-4

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2020/01/26



### アラサー女子、悟りのススメ。～救われたら会いに行け!～

SALLiA 著  
オークラ出版

本当のモテは楊貴妃観音像に学べ! 男女の多様化は帝釈天立像で悟れ! 自由ゆえの不自由さに息苦しさを抱えるアラサー女性。その悩みや苦しみを解決するヒントをくれる全国各地の仏像を厳選し、イラストとともに紹介する。

2019:12./ 239p

978-4-7755-2914-0

本体 ¥1,450+税



読売新聞 2020/01/26



### 団地へのまなざし～ローカル・ネットワークの構築に向けて～

岡村 圭子 著  
新泉社

戦後、高度経済成長の歩みと共にあり、時代の象徴的存在のひとつであった「団地」。画一的で閉鎖的な空間として語られることの多い団地で展開されている社会的ネットワークに着目し、居住の実態と団地の社会的な位置づけを考察。

読売新聞 2020/01/26

2019:12./ 291p  
978-4-7877-1926-3  
本体 ¥2,700+税



### 賀茂川コミュニケーション塾～ビブリオバトルから人工知能まで～(教養みらい選書 005)

谷口 忠大 著  
世界思想社

会議で意見を出してもらうには? ビブリオバトルって何? コミュニケーションするロボットは創れる? コミュニケーションの新しい視点を、教授と高校生たちの対話によるライトノベル形式で伝授する。

読売新聞 2020/01/26

2019:12./ 7p,228p  
978-4-7907-1737-9  
本体 ¥1,700+税



### カニという道楽～ズワイガニと日本人の物語～

広尾 克子 著  
西日本出版社

道頓堀にあるカニ料理専門店「かに道楽」、料理人や漁師の創意工夫、カニを産地へ食べに行くカニツーリズム…。冬の味覚として深く愛されてきたズワイガニをめぐる繰り広げられる日本人の物語を、多角的な視点から描く。

読売新聞 2020/01/26

2019:10./ 254p  
978-4-908443-45-9  
本体 ¥1,500+税



### ほんのちょっと当事者

青山 ゆみこ 著  
ミシマ社

私たちが生きるということは「なにかの当事者」となること。ローン地獄、児童虐待、性暴力、看取りなど、新聞の見出しとなるような「大文字の困りごと」を「自分事」として考える。『みんなのミシマガジン』連載を加筆修正。

読売新聞 2020/01/26

2019:12./ 245p  
978-4-909394-29-3  
本体 ¥1,600+税



### 俳諧の詩学

川本 皓嗣 著  
岩波書店

素朴な「意味」への問いは、「世界最短の詩」である俳句・俳諧を広く一般詩学へと解放するきっかけとなる。季語や切字などの約束事を当たり前のこととせず、その根底から改めてこの「短詩型」を問い直す俳諧論。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:9./ 20p,297p,9p  
978-4-00-024489-3  
本体 ¥3,300+税



### 溺れるものと救われるもの(朝日文庫 ふ 41-1)

プリーモ・レーヴィ 著  
朝日新聞出版

アウシュヴィッツは、生存者のその後の人生にもつきまとった。アウシュヴィッツ生還から 40 年、記憶が風化してゆくなか、レーヴィが自らの体験を極限まで考え抜き、分析し、苦闘の末にまとめた本。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:11./ 304p  
978-4-02-261995-2  
本体 ¥840+税





**地名崩壊(角川新書 K-293)**

今尾 恵介 著  
KADOKAWA

「ブランド地名」の拡大、「忌避される地名」の消滅、市町村合併での「ひらがな」化、「カタカナ地名」の急増…。土地の歴史的重層性を失う安易な地名変更。地名の成立と変貌を追い、あるべき姿を考える。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:11./ 258p  
978-4-04-082300-3

本体 ¥860+税



**イノベーターズ～天才、ハッカー、ギークがおりなすデジタル革命史～<1>**

ウォルター・アイザックソン 著  
講談社

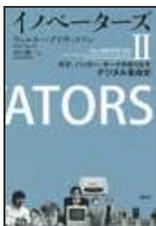
コンピュータやインターネットは誰が作ったのかを、緻密な取材をもとにつづった歴史書。1 は、コンピュータの母といわれる伯爵夫人エイダ・ラブレスの存在から、インターネットが生まれるまでを網羅する。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:10./ 449p

978-4-06-220177-3

本体 ¥2,400+税



**イノベーターズ～天才、ハッカー、ギークがおりなすデジタル革命史～<2>**

ウォルター・アイザックソン 著  
講談社

コンピュータやインターネットは誰が作ったのかを、緻密な取材をもとにつづった歴史書。2 は、パーソナルコンピュータ、ソフトウェア、ブログ、Google、ウィキなど、身近なデジタルイノベーションのすべてを明かす。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:10./ 424p

978-4-06-514738-2

本体 ¥2,400+税



**私の家**

青山 七恵 著  
集英社

実家に戻ってきた娘、他人に親身な母、音信不通だった伯父、そして大叔母。すれ違いつつも、同じ家に暮らした記憶と小さな秘密に結び合わされて…。三代にわたる「家と私」の物語。『すばる』連載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:10./ 315p

978-4-08-771675-7

本体 ¥1,750+税



**サイバーセキュリティ～組織を脅威から守る戦略・人材・インテリジェンス～**

松原 実穂子 著  
新潮社

攻撃者の実像、その手口、狙われやすい標的とは。そして、サイバー攻撃に対する防御法とは。防衛省出身のインテリジェンス専門家が徹底解説し、組織がとるべきアクションも実例を挙げて具体的に提言する。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:11./ 266p

978-4-10-353031-2

本体 ¥1,700+税



**古関裕而～流行作曲家と激動の昭和～(中公新書 2569)**

刑部 芳則 著  
中央公論新社

日中戦争中、軍歌「露営の歌」で一世を風靡し、戦後は「長崎の鐘」「オリンピック・マーチ」といった、流行歌やスポーツ音楽など数々の名曲を残した作曲家・古関裕而。戦争から復興まで、昭和史を音楽で彩った彼の生涯を辿る。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:11./ 4p,294p

978-4-12-102569-2

本体 ¥880+税





**日本の歴史<3> 奈良の都**

青木和夫 著  
中央公論新社  
日本経済新聞 2020/01/04

1965:4./ 504p  
978-4-12-400283-6  
本体 ¥2,200+税



**ダムと緑のダム～狂暴化する水災害に挑む流域マネジメント～**

虫明 功臣、太田 猛彦、日経コンストラクション 編  
虫明 功臣、太田 猛彦 著  
日経BP社

気候変動に伴い規模が大型化し頻度の増加が見込まれる水災害。水害時に上流部で起こる現象と原因、上流部での災害の発生や防御に関わる森林とダムの実態と課題を明らかにし、流域全体での対策とマネジメントのあり方を提案。

2019:12./ 239p  
978-4-296-10447-5  
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/01/04



**自画像のゆくえ(光文社新書 1028)**

森村 泰昌 著  
光文社

画家はなぜ自画像を描くのか。自撮り/セルフイー時代の「わたし」とは。セルフポートレート写真(自画像的写真)をつくりつけてきた美術家が、約 600 年の歴史を踏まえて綴る実践的自画像論。

2019:10./ 615p  
978-4-334-04437-4  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/01/04



**1兆ドルコーチ～シリコンバレーのレジェンド ビル・キャンベルの成功の教え～**

エリック・シュミット、ジョナサン・ローゼンバーグ、アラン・イーグル、櫻井 祐子 著  
ダイヤモンド社

「心理的安全性」が潜在能力を引き出す、チームを最適化すれば問題は解決する...。シリコンバレー中の成功者に絶大な影響を与えた伝説のリーダー、ビル・キャンベル。これまで謎に包まれてきた、彼の教えのすべてを紹介する。

2019:11./ 301p  
978-4-478-10724-9  
本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/01/04



**ハーメルンの笛吹き男～伝説とその世界～(ちくま文庫)**

阿部 謹也 著  
筑摩書房

日本経済新聞 2020/01/04

1988:12./ 315p,4p  
978-4-480-02272-1  
本体 ¥760+税



**日本の民俗宗教(ちくま新書 1450)**

松尾 恒一 著  
筑摩書房

大嘗祭、年越し、盆踊り...。日本独自の文化・伝統はどのようにして生まれたのか。古代から現代まで、数々の外来文化の影響を受けて変容し形成された日本の民俗宗教を、歴史上の政治状況、制度の変遷とともに多角的に読み解く。

2019:11./ 282p  
978-4-480-07260-3  
本体 ¥880+税



日本経済新聞 2020/01/04



### 知略の本質～戦史に学ぶ逆転と勝利～

野中 郁次郎、戸部 良一、河野 仁、麻田 雅文 著  
日本経済新聞出版社

勝者に共通する知略とは。独ソ戦、英独戦、インドシナ戦争、イラク戦争をケースに、圧倒的不利を打破する戦略と指導力を解明。21 世紀日本に必要な構想力を提示する。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:11./ 416p  
978-4-532-17676-1  
本体 ¥2,200+税



### ギャンブルで勝ち続ける科学者たち～完全無欠の賭け～(草思社文庫 ク3-1)

アダム・クチャルスキー、柴田 裕之 著  
草思社

宝くじ、ルーレット、競馬、ポーカーからサッカー、バスケなどのスポーツベッティングまで。「運」に頼らず「科学」で勝つ、儲けを出しつつける科学的ギャンブル攻略法の最前線をレポートする。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:12./ 381p  
978-4-7942-2427-9  
本体 ¥1,100+税



### 上野新論～変わりゆく街、受け継がれる気質～

五十嵐 泰正 著  
せりか書房

特異なまでに都市的な要素や機能が高密度に集積し、異質性の高い人たちが集う街、上野。そのグローバル化のプロセスを、その特異な個別性に根差して論考する。既出の論文を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:12./ 301p  
978-4-7967-0384-0  
本体 ¥3,000+税



### LNG～50年の軌跡とその未来～

今井 伸、橘川 武郎 著  
日経BPコンサルティング

日本が液化天然ガス「LNG」を導入して 50 年。今や発電の 4 割を担い、再生可能エネルギーのベストパートナーとなった。天然ガス/LNG を通して、エネルギーと環境の未来を展望する。折り込み資料付き。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:10./ 13p,391p  
978-4-86443-132-3  
本体 ¥2,500+税



### 日本の香りと室礼～伝えていきたい美しい文化～

宮沢 敏子 著  
八坂書房

正倉院宝物の薬香、源氏物語の薫香、趣深き五節供の室礼、伝統的な香道の世界。絵画工芸品や伝統的な香り装飾など 250 点の写真を交えて、四季折々の豊かで美しい日本の香りと室礼文化を紹介する。香りのレシピも掲載。

日本経済新聞 2020/01/04

2019:12./ 239p  
978-4-89694-268-2  
本体 ¥1,800+税



### くたばれインターネット(ele-king books)

ジャレット・コベック 著  
Pヴァイン

ビヨンセもザッカーバーグもスティーヴ・ジョブスもだいさらい! 21 世紀にもっともやっつてはいけない唯一の大罪を犯してしまったアラフォー女子 1 名、ツイッターで自衛し、ツイッターで攻撃を仕掛けるが...

日本経済新聞 2020/01/04

2019:12./ 381p  
978-4-909483-43-0  
本体 ¥2,600+税





### 危機と人類<上>

ジャレド・ダイヤモンド、小川 敏子、川上 純子 著  
日本経済新聞出版社

ペリー来航の日本、ソ連に侵攻されたフィンランド…。国家的危機に直面した各国国民は、いかにして変革を選び取り、繁栄への道を進んだのか。世界 7 か国の事例から、次の劇的変化を乗り越えるための叢智を説き明かす。

日本経済新聞 2020/01/04、朝日新聞 2020/01/25

2019:10./ 274p 図版  
16p

978-4-532-17679-2

本体 ¥1,800+税



### 危機と人類<下>

ジャレド・ダイヤモンド、小川 敏子、川上 純子 著  
日本経済新聞出版社

現代日本は、基本的価値観を再評価し、意味が薄れたものと残すべきものを峻別し、新しい価値観をさらに加えることで、現実に適応できるだろうか？ 博覧強記の博士が、世界を襲う危機と、解決への道筋を提案する。

日本経済新聞 2020/01/04、朝日新聞 2020/01/25

2019:10./ 331p 図版  
16p

978-4-532-17680-8

本体 ¥1,800+税



### 薪を焚く

ラーシュ・ミッティング、朝田 千恵 著  
晶文社

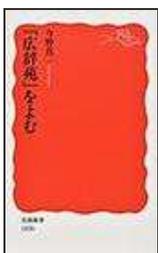
伐って、割って、積んで、乾かし、燃やす。木との対話から浮かび上がる、自然との関わり、道具への偏愛、スローライフの哲学、手仕事の喜び…。ノルウェーの伝統的な薪焚きの技術と精神を伝える、薪と人の物語。

日本経済新聞 2020/01/04、毎日新聞 2020/01/19

2019:11./ 308p

978-4-7949-7161-6

本体 ¥3,300+税



### 『広辞苑』をよむ(岩波新書 新赤版 1820)

今野 真二 著  
岩波書店

使いながら必要以上にいろいろなことを考える。しょっちゅう脱線。それが辞書を「よむ」ということだ。ことばを愛してやまない日本語学者が、真剣に、マニアックに、「広辞苑」の使い方・遊び方を紹介する。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:12./ 6p,253p,7p

978-4-00-431820-0

本体 ¥820+税



### 絵で楽しむ江戸のことわざ(角川ソフィア文庫 E110-2)

時田 昌瑞 著  
KADOKAWA

「鬼の留守に洗濯」って、何の洗濯なの？ 日ごろ不思議に思われることわざも、いざ絵で見ると思わず納得！ 江戸人のエスプリやユーモアあふれることわざを、当時の「ことわざ絵」とともに紹介する。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:12./ 344p

978-4-04-400522-1

本体 ¥1,160+税



### ニック・ランドと新反動主義～現代世界を覆う<ダーク>な思想～(星海社新書 153)

木澤 佐登志 著  
星海社

新反動主義と呼ばれる、リベラルな価値観に否を突きつける暗く新たな思想潮流が存在感を示しつつある。新反動主義の形成に寄与したと思われるニック・ランドら 3人の重要人物に焦点を当て、そのエッセンスを取り出す。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:5./ 238p

978-4-06-516014-5

本体 ¥960+税





### 真実の終わり

ミチコ・カクタニ、岡崎 玲子 著  
集英社

客観的事実が消えゆく世界で、私たちはどう生きるべきか。トランプ政権に象徴される民主主義の危機、フェイクニュースやプロパガンダがはびこる現代社会の闇を、米文壇無比の文芸評論家が読み解く。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:6./ 172p  
978-4-08-773496-6  
本体 ¥1,700+税



### エロ事師たち 改版(新潮文庫)

野坂 昭如 著  
新潮社

日本経済新聞 2020/01/11

2001:8./ 258p  
978-4-10-111201-5  
本体 ¥520+税



### 現代美術史~欧米、日本、トランスナショナル~(中公新書 2562)

山本 浩貴 著  
中央公論新社

芸術は社会、世界、人間とどう向き合っているのか。難解と思われがちな現代美術を、特に第二次世界大戦後の社会との関わりから解説、意義づける。世界中の作家による立体、映像など様々な作品で紡ぐ、現代アート入門。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:10./ 9p,318p  
978-4-12-102562-3  
本体 ¥960+税



### スーパー大陸~ユーラシア統合の地政学~

ケント・E.カルダー、杉田 弘毅 著  
潮出版社

米中二国間の対立の構図を超越し、潜在性で北米大陸を凌駕するユーラシア大陸が巨大なパワーとして出現し、世界の行く末を変えようとしている。その現実を、豊富なエピソードと図表、地図で解説する。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 377p,28p  
978-4-267-02219-7  
本体 ¥3,500+税



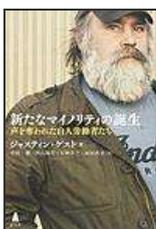
### 文豪のきもの(河出文庫 こ12-3)

近藤 富枝 著  
河出書房新社

樋口一葉、永井荷風、谷崎潤一郎、宇野千代、幸田文…。文豪たちはきものをどのように書き、どのように着こなしていたのか。きもので読み解く、もうひとつの文壇史。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:12./ 196p  
978-4-309-41724-0  
本体 ¥780+税



### 新たなマイノリティの誕生~声を奪われた白人労働者たち~

ジャスティン・ゲスト、吉田 徹、西山 隆行、石神 圭子、河村 真実 著  
弘文堂

白人労働者階級は何に憤っているのか。ポピュリズム政治を駆動させるその力はどこから来るのか。英イーストロンドンと米オハイオ州ヤングスタウンでのインタビュー等から<トランプとブレグジットを生んだ人々>の正体に迫る。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:5./ 15p,387p  
978-4-335-46038-8  
本体 ¥2,900+税





### 現代中国と立憲主義

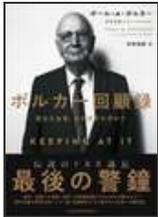
石塚 迅 著  
東方書店

中国は近代西欧立憲主義とどのように向きあってきたのか。中国の立憲主義、民主主義、人権の理論や制度、実現状況、諸課題について、著者が 2003 年から 2012 年にかけて執筆・公表してきた 9 本の論文を集成。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:10./ 10p,287p  
978-4-497-21919-0

本体 ¥6,000+税



### ポール・A.ボルカー～健全な金融、良き政府を求めて～

ポール・A.ボルカー、クリスティン・ハーパー、村井 浩紀 著  
日本経済新聞出版社

ポール・ボルカー元連邦準備理事会(FRB)議長の回顧録。世界の指導者、中央銀行家、金融界の人々ともに関わった世界的な危機にどう対処したのかを精力的に描く。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:10./ 416p

978-4-532-17677-8

本体 ¥3,200+税



### データの世紀

日本経済新聞データエコノミー取材班 編  
日本経済新聞出版社

ヒト・モノ・カネが生み出すデータ資源は、企業や国、そして世界の秩序を変える。すさまじい速度で押し寄せているデータ経済の光と影を追う。『日本経済新聞』『日経電子版』掲載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 254p

978-4-532-35841-9

本体 ¥1,500+税



### 胡堂と啄木

郷原 宏 著  
双葉社

作家・野村胡堂と歌人・石川啄木。4 歳違いのふたりは、盛岡の同じ学校で青春を過ごした。彼らの来し方行く末思ふ姿を、了然明晰に描く。『小説推理』連載を単行本化。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 325p

978-4-575-31507-3

本体 ¥3,000+税



### 専門知は、もういらぬのか～無知礼賛と民主主義～

トム・ニコルズ、高里 ひろ 著  
みすず書房

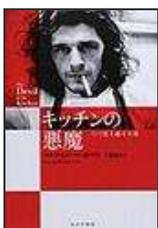
社会を蝕む反知性主義とは? 専門知が蔑ろにされてフェイクがまかり通り、好みの情報だけを取り入れてその正誤を顧みない風潮が高まっている現在。何が起きているのか、放置するとどうなるのか。アメリカの状況を考察する。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:7./ 284p,16p

978-4-622-08816-5

本体 ¥3,400+税



### キッチン悪魔～三つ星を越えた男～

マルコ・ピエール・ホワイト、ジェームズ・スティーン、千葉 敏生 著  
みすず書房

イギリス労働者階級から這い上がり、ミシュラン三つ星を獲得したシェフ、マルコ・ピエール・ホワイト。あえて星をすて、経営に専念した孤高のシェフの闘争記。実際にふるまわれていたフルコースを再現できるレシピ付き。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 341p

978-4-622-08856-1

本体 ¥3,000+税





### 日本の伝統文化<1> 伝統文化

五味 文彦 著  
山川出版社

日本文化の継承と創造の歴史をひもとく。1 は、伝統文化の基層である古代から近世まで、9 世紀初頭の宮廷文化形成期にあたる嵯峨朝の時代を重視し、伝統文化の形成と展開を明らかにする。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:8./ 5p,476p,14p  
978-4-634-21301-2

本体 ¥4,000+税



### あふりこ〜フィクションの重奏/遍在するアフリカ〜

川瀬 慈、村津 蘭 著  
新曜社

アフリカ各地の「物語」をフィールドワークし、色・光・音・匂い・静寂・気配を描きながら、現実と歴史を多層化させ、世界の息遣いと知的可能性に大胆に迫る。写真も多数収録。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 339p

978-4-7885-1654-0

本体 ¥2,400+税



### フィンランド公共図書館〜躍進の秘密〜

吉田 右子、小泉 公乃、坂田ヘントネン亜希 著  
新評論

情報と文化へのアクセスが 100% 保障されているフィンランドでは、無料の公共図書館が生涯学習を約束する場所となっている。「世界一」意欲的に使われているフィンランド公共図書館の秘密に迫り、その魅力を伝える。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:11./ 19p,258p

978-4-7948-1139-4

本体 ¥2,500+税



### 男らしさの終焉

グレイソン・ペリー 著  
フィルムアート社

男性が変われば世界全体をより良い場所にできるはず。異性装者でもあるアーティストが、「権力・パフォーマンス・暴力・感情」といった男性性の 4 エリアを検討し、新しい時代のジェンダーとしなやかな男性のあり方を模索する。

日本経済新聞 2020/01/11

2019:12./ 204p

978-4-8459-1830-0

本体 ¥2,000+税



### オリジン・ストーリー〜138 億年全史〜

デイヴィッド・クリスチャン、柴田 裕之 著  
筑摩書房

われわれはどこから来たのか。宇宙創成から生命の誕生、現代文明までの 138 億年を一つの物語として描き出す。天文学、物理学、生物学、考古学、経済学など、様々な学問分野の最先端の成果を結集させたビッグヒストリー。

日本経済新聞 2020/01/11、朝日新聞 2020/01/25

2019:11./ 385p,27p

978-4-480-85818-4

本体 ¥2,200+税



### ナウシカ考〜風の谷の黙示録〜

赤坂 憲雄 著  
岩波書店

ささやかな奇跡が産み落とした種子のようなこの作品は、いま、ようやくにして芽生えと育ちの季節を迎えようとしているのかもしれない…。傑作マンガ「風の谷のナウシカ」を、一篇の思想の書として徹底的に読み解く。

日本経済新聞 2020/01/11、読売新聞 2020/01/19

2019:11./ 27p,345p

978-4-00-024180-9

本体 ¥2,200+税





**人と出会う～1960-80年代、一編集者の印象記～**

岡崎 満義 著  
岩波書店

元『文芸春秋』『ナンバー』編集長が語る、とっておきの逸話集。取材で会った学者・作家・芸術家・アスリートなど 38 人の忘れがたい印象を、掌にすくいあげるように語る。

2010:5./ 194p  
978-4-00-024503-6  
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/01/18



**水墨画入門(岩波新書 新赤版 1819)**

島尾 新 著  
岩波書店

墨、筆、紙-シンプルな素材から生みだされてきた、果てしなく豊かで奥深く、そして楽しい「モノクロームの世界」水墨画。東アジア独自の筆墨文化に広く目くばりしながら、その歴史と思想、作品と技法を縦横無尽に読み解く。

2019:12./ 4p,220p  
978-4-00-431819-4  
本体 ¥920+税



日本経済新聞 2020/01/18



**日本のイスラーム～歴史・宗教・文化を読み解く～(朝日選書 991)**

小村 明子 著  
朝日新聞出版

日本とイスラームの歴史的関係を通覧し、日本に住むムスリム(イスラーム教徒)の知られざる実像に肉薄。彼らへのインタビューを通して、地域交流やハラール・ビジネスの実情と課題を浮き彫りにし、真の共存への道を探る。

2019:12./ 267p,3p  
978-4-02-263091-9  
本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/01/18



**少年の名はジルベール(小学館文庫 た 37-1)**

竹宮 恵子 著  
小学館

「マンガで革命を起こす!」とアパートで仲間と語り合った日々。現在の BL の礎を築く名作「風と木の詩」執筆秘話…。少女マンガの黎明期を第一線で駆け抜けた竹宮恵子が、「創作するということ」を余すことなく語った自伝。

2019:11./ 267p  
978-4-09-406713-2  
本体 ¥700+税



日本経済新聞 2020/01/18



**第一阿房列車(新潮文庫)**

内田 百間 著  
新潮社

日本経済新聞 2020/01/18

2003:4./ 317p  
978-4-10-135633-4  
本体 ¥550+税



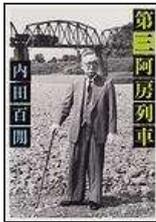
**第二阿房列車(新潮文庫)**

内田 百間 著  
新潮社

日本経済新聞 2020/01/18

2003:10./ 248p  
978-4-10-135634-1  
本体 ¥490+税





**第三阿房列車(新潮文庫)**  
内田 百間 著  
新潮社  
日本経済新聞 2020/01/18

2004:6./ 293p  
978-4-10-135635-8  
本体 ¥550+税



**海の地政学～覇権をめぐる 400 年史～(中公新書 2566)**  
竹田 いさみ 著  
中央公論新社  
航路や資源、国際的な法制度など多様な論点から、400 年に及ぶ海をめぐる激動の歴史を描き出した書。各国の思惑が交錯し、形作られてきた海洋秩序を前にして、海に囲まれた日本はどう向き合うべきかを考える。

2019:11./ 5p,267p  
978-4-12-102566-1  
本体 ¥900+税

日本経済新聞 2020/01/18



**いま、翔び立つとき～女性をエンパワーすれば世界が変わる～**  
ミンダ・ゲイツ、久保 陽子 著  
光文社  
女性の地位を向上させることが、世界全体の改善につながると語る著者が、慈善活動の経験やその過程で出会った女性たちを紹介しながら、現状の問題の解決策を提案する。自身の半生や、夫ビル・ゲイツとの結婚生活も明かす。

2019:11./ 338p  
978-4-334-96233-3  
本体 ¥1,800+税

日本経済新聞 2020/01/18



**唯識とは何か～「法相二巻抄」を読む～**  
横山 紘一 著  
春秋社  
日本第一の唯識入門書と呼ばれた良遍の「法相二巻抄」を読み解き、仏教の中でもとりわけ難解をもってなる唯識の教理と修行の全容を示す。東京大学仏教青年会主催「仏典講読会」で昭和 57 年から 2 年間行った講義をまとめる。

2012:7./ 7p,4p,439,11p  
978-4-393-13553-2  
本体 ¥3,200+税

日本経済新聞 2020/01/18



**わたしの般若心経～生死を見すえ、真のやすらぎへ～(ノン・ブック)**  
松原泰道 著  
祥伝社  
日本経済新聞 2020/01/18

1991:7./ 319p  
978-4-396-10315-6  
本体 ¥857+税



**独居老人スタイル(ちくま文庫 つ9-9)**  
都築 響一 著  
筑摩書房  
あえて独居老人でいること。それは老いていくこの国で生きのびるための、きわめて有効なスタイルかもしれない。16 人の魅力的な独居老人たちを取材・紹介する。ワード写真あり。

2019:12./ 412p 図版 32p  
978-4-480-43626-9  
本体 ¥1,000+税

日本経済新聞 2020/01/18



### 日本経済のマクロ分析～低温経済のパズルを解く～

鶴 光太郎、前田 佐恵子、村田 啓子 著

日本経済新聞出版社

鈍化した経済成長、変貌する景気循環、低下する家計貯蓄率-。日本経済全体をマクロな視点から鳥瞰し、これまでの経済学の理論・実証分析の蓄積を活用して新しい因果関係を解明。正しい処方箋を提示する。

2019:11./ 241p

978-4-532-13497-6

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/01/18



### 風神雷神～Jupiter,Aeolus～<上>

原田 マハ 著

PHP研究所

20xx年。京都国立博物館研究員の彩がマカオで目にしたのは「風神雷神」が描かれた西洋絵画と「俵屋宗達」の4文字で...。「風神雷神図?風」を軸に繰り広げられる歴史アート小説。『京都新聞』ほか連載を加筆し書籍化。

2019:10./ 363p

978-4-569-84387-2

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/01/18



### 風神雷神～Jupiter,Aeolus～<下>

原田 マハ 著

PHP研究所

謎多き琳派の祖・俵屋宗達とバロックの巨匠・カラヴァッジョ。ふたりの魂の化身である「絵」が出会い...。「風神雷神図?風」を軸に繰り広げられる歴史アート小説。『京都新聞』ほか連載を加筆し書籍化。

2019:10./ 314p

978-4-569-84388-9

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/01/18



### 生物に世界はどう見えるか～感覚と意識の階層進化～

実重 重実 著

新曜社

ゾウリムシ、大腸菌から、植物、カビ・キノコ、動物まで、あらゆる段階の生物にとって、世界がどのように見えているかを最新の知見に基づいて描写。生物の感覚が段階的に進化してきたことを明らかにする。

2019:12./ 12p,198p,9p

978-4-7885-1659-5

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/01/18



### ワンダーウーマンの秘密の歴史

ジル・ルポール、鷲谷 花 著

青土社

勇敢なる彼女は、なぜ生まれたのか? 膨大で緻密な資料分析と関係者への綿密な調査によって、原作者とその周辺を追い、「フェミニズムの心理的プロパガンダ」として構想されたワンダーウーマンのオリジンを明らかにする。

2019:12./ 607p 図版

16p

978-4-7917-7177-6

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2020/01/18



### ドイツ・パワーの逆説～<地経学>時代の欧州統合～

ハンス・クンドナニ、中村 登志哉 著

一藝社

経済力を武器に政治目標を実現する! 統一から30年、ヨーロッパ随一の“地経学”大国になったドイツはどこへ向かうのか。ドイツの地経学的な意味を探り、今後の可能性を鋭く示唆する。

2019:11./ 233p

978-4-86359-196-7

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2020/01/18



### みずぶさんのうれしいまなざし

矢崎 節夫 著  
ジュラ出版局

四半世紀もの間、みずぶの詩と向き合ってきた著者ならではの視点から、25編の詩に寄せて、いのちのこと、自然のこと、宇宙のこと、そして、人とのかかわり、戦争のことなど、現代社会にこそ伝えたいメッセージを綴る。

日本経済新聞 2020/01/18

2008:7./ 166p

978-4-88284-299-6

本体 ¥1,200+税



### 大学改革の迷走(ちくま新書 1451)

佐藤 郁哉 著  
筑摩書房

危機に瀕していると言われている大学。80年代以降の改革案から遡り、それらの理不尽、不可解な政策がなぜまかりとおったのか、大学側はなぜそれを受け入れたのかを詳細に分析。大学改革を阻む真の「悪者」の姿に迫る。

日本経済新聞 2020/01/18、読売新聞 2020/01/26、毎日新聞 2020/01/26

2019:11./ 478p

978-4-480-07263-4

本体 ¥1,200+税



### 子供はわかってあげない<上>(モーニング KC 2379)

田島 列島 著  
講談社

モーニング誌上で思わぬ超大好評を博した甘酸っぱすぎる新感覚ボーイミーツガール。センシティブでモラトリアム、マイペースな超新星・田島列島の初単行本。出会ったばかりの二人はお互いのことをまだ何も知らない。

日本経済新聞 2020/01/25

2014:9./ 193p

978-4-06-388379-4

本体 ¥630+税



### 子供はわかってあげない<下>(モーニング KC 2380)

田島 列島 著  
講談社

サクタさんともじくんのひと夏の青春お気楽サイキック宗教法人ハードボイルドボーイミーツガール、後半戦。イノセントでストレンジ、モーニング超期待の新星、田島列島の初単行本作品です。

日本経済新聞 2020/01/25

2014:9./ 193p

978-4-06-388380-0

本体 ¥630+税



### 定年消滅時代をどう生きるか(講談社現代新書 2553)

中原 圭介 著  
講談社

これから定年消滅時代がやってくる。充実感のある人生を歩み続けるためには、どうすればいいのか。10年先を見据えた「自らの価値を高める方法」と「これからの働き方」について綴る。

日本経済新聞 2020/01/25

2019:12./ 230p

978-4-06-518195-9

本体 ¥860+税



### 名前の哲学(講談社選書メチエ 719)

村岡 晋一 著  
講談社

西洋哲学の世界で長らくやっかいもの扱いされてきた名前。しかし、ドイツ・ユダヤ思想が、世界を別様に輝かせ…。ヴィトゲンシュタイン、ローゼンツヴァイク、ベンヤミンの思想を軸に、21世紀の共同体論を描きだす。

日本経済新聞 2020/01/25

2020:1./ 211p

978-4-06-518360-1

本体 ¥1,600+税





### 利根川・隅田川(中公文庫 や 1-5)

安岡 章太郎 著  
中央公論新社

川だけが昔のままに流れている。川の流れに魅せられた著者が踏査したユニークな利根川紀行と、太平洋戦争末期に大空襲前の東京の面影を唯一とどめていた隅田川の思い出を綴ったエッセイを収録する。

日本経済新聞 2020/01/25

2020:1./ 269p

978-4-12-206825-4

本体 ¥900+税



### 14億人のデジタル・エコノミー〜中国 AIビッグバン〜

馬 文彦(ウインストン・マー) 著  
早川書房

小売、金融、モビリティ、エンタメなどあらゆる分野で進行中の「中国デジタル革命」。世界最大級の政府系ファンドで10年間活躍し、国内外の企業に総額2兆円超を投資してきた著者が、そのインパクトを徹底分析する。

日本経済新聞 2020/01/25

2019:12./ 263p

978-4-15-209906-8

本体 ¥1,700+税



### インタビューズ

堂場 瞬一 著  
河出書房新社

平成元年。新聞記者の俺は大学時代の友人のアドバイスで、これから始まる平成全ての大晦日に、その年一番印象的だった事件や出来事を聞くインタビューを行うことを決め…。100人の架空のインタビューで?がる物語。

日本経済新聞 2020/01/25

2020:1./ 281p

978-4-309-02855-2

本体 ¥1,600+税



### 鳥と人、交わりの文化誌

細川 博昭 著  
春秋社

古来、連綿と続いてきた鳥と人間の接点を独自の視点で見つめ、鳥の新たな一面を解き明かす。人間と鳥たちの関わりを歴史を、鳥たちが教え、伝える書。『Web 春秋 はるとあき』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2020/01/25

2019:11./ 4p,320p,7p

978-4-393-42460-5

本体 ¥2,000+税



### 天皇と戸籍〜「日本」を映す鏡〜(筑摩選書 0181)

遠藤 正敬 著  
筑摩書房

「日本人」たることを証明する戸籍、戸籍をもたない天皇家。天皇制と戸籍はいかなる関係にあるのか? その根底には何があるのか? 天皇制と戸籍の歴史を検証し、現代的意味を問い直す。

日本経済新聞 2020/01/25

2019:11./ 284p

978-4-480-01691-1

本体 ¥1,600+税



### 魚味求真〜魚は香りだ〜(ちくま文庫 せ 13-1)

関谷 文吉 著  
筑摩書房

旬の季節、産地の良し悪し、適した料理法、酒やワインとの相性…。稀代の名人として名を馳せた浅草「紀文寿司」四代目、関谷文吉が、真に美味しい魚の食べ方を語り尽くす、究極の魚食エッセイ。

日本経済新聞 2020/01/25

2019:12./ 255p

978-4-480-43629-0

本体 ¥800+税





### 7つの階級～英国階級調査報告～

マイク・サヴィジ、船山 むつみ 著  
東洋経済新報社

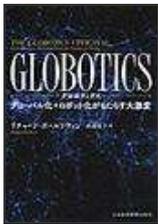
ホワイトカラー/ブルーカラー、中流/労働者、こんな分類はもう古い！ 経済資本・文化資本・社会関係資本の 3 つの資本を組み合わせる新しい階級分類により、現在のイギリス社会における階級格差を明らかにする。

2019:11./ 6p,384p,24p  
978-4-492-22385-7

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2020/01/25



### GLOBOTICS～グローバル化+ロボット化がもたらす大激変～

リチャード・ボールドウィン、高遠 裕子 著  
日本経済新聞出版社

農業から工業へ。モノからサービスへ。産業革命以降、技術の変化が人間社会に与えてきた衝撃の歴史を踏まえながら、デジタル技術がもたらす「グロボティクス転換」の世界を大胆に展望し、大激変への備えを説く。

2019:11./ 375p

978-4-532-35840-2

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/01/25



### アジアの世紀～接続性の未来～<上>

パラグ・カンナ、尼丁 千津子 著  
原書房

「世界はアジア化する」国際政治学者パラグ・カンナが、アジアと日本の潜在能力と行く末を膨大なデータからひもとき、アジアのあらゆる側面を描く。上は、アジアから見た世界の歴史、帰ってきた大アジアなどを収録。

2019:11./ 306p

978-4-562-05706-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/01/25



### アジアの世紀～接続性の未来～<下>

パラグ・カンナ、尼丁 千津子 著  
原書房

「接続性はアジアに帰結する」国際政治学者パラグ・カンナが、アジアと日本の潜在能力と行く末を膨大なデータからひもとき、アジアのあらゆる側面を描く。下は、新しい太平洋パートナーシップなどを収録。

2019:11./ 246p

978-4-562-05707-8

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/01/25



### 映画と黙示録

岡田 温司 著  
みすず書房

私たちは<世界の終わり>を見たいのだろうか？ ホラー、パニック、アクション、戦争、SF、ミステリー、フィルム・ノワール…。約 250 作を取り上げ、映画の想像力が挑む多様な解釈に、映像の可能性と限界を読み解く。

2019:12./ 309p,22p

978-4-622-08873-8

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2020/01/25



### テレビ越しの東京史～戦後首都の遠視法～

松山 秀明 著  
青土社

戦後日本を生きる人びとが記憶する<東京>のイメージは、いつどのように形成されたのか。膨大なアーカイブから戦後テレビ史を丹念に掘り起こし、そこに見いだされ、演出され、記憶された<東京>なるもののかたちをたどる。

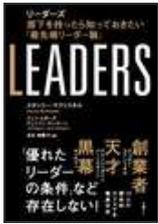
2019:11./ 333p,29p

978-4-7917-7232-2

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2020/01/25



### LEADERS～部下を持ったら知っておきたい「最先端リーダー論」～

スタンリー・マクリスタル、ジェフ・エガーズ、ジェイソン・マンゴーン、月沢 李歌子 著

日経BP社

「優れたリーダーの条件」など存在しない! <創業者>ディズニーとココ・シャネル、<天才>アインシュタインとバーンスタイン...。13人の歴史的カリスマを徹底分析し、新しいリーダーシップを再定義する。

日本経済新聞 2020/01/25

2019:12./ 613p

978-4-8222-8858-7

本体 ¥2,300+税



### 靴ひも(CREST BOOKS)

ドメニコ・スタルノーネ 著

新潮社

留守宅が何者かに荒らされていた。困惑する夫が目にしたのは、40年前、夫が家を出たことをなじる妻からの手紙の束。決して癒えることのなかった過去の傷跡が、次第に浮き彫りにされてゆき...。イタリア発の家族小説。

日本経済新聞 2020/01/25、読売新聞 2020/01/26

2019:11./ 202p

978-4-10-590161-5

本体 ¥1,900+税



### 興行師列伝～愛と裏切りの近代芸能史～(新潮新書 845)

笹山 敬輔 著

新潮社

情熱と野望で大衆芸能の発展に貢献した、松竹・吉本・大映・東宝の創業者たち。近代日本を代表する5人の大興行師の波瀾万丈の人生やライバルとの仁義なき戦いを、膨大な資料からドラマチックに描く。

日本経済新聞 2020/01/25、毎日新聞 2020/01/26

2020:1./ 271p

978-4-10-610845-7

本体 ¥820+税



### 中国の行動原理～国内潮流が決める国際関係～(中公新書 2568)

益尾 知佐子 著

中央公論新社

世界各国と軋轢を起こす中国。その特異な言動は、世界覇権への野心や中華思想などでは説明できない。彼らのルールを、民族特有の家族観、社会の秩序意識、政経分離のキメラ体制、国内の政治闘争から解明する。

日本経済新聞 2020/01/25、毎日新聞 2020/01/26

2019:11./ 5p,306p

978-4-12-102568-5

本体 ¥920+税



### 地面師たち

新庄 耕 著

集英社

ある事件で母と妻子を亡くした拓海は、大物地面師の下で不動産詐欺を行っていた。次の狙いは市場評価額100億円の物件で...。不動産売買を餌に金を騙し取る「地面師」の組織的犯罪を描く。『小説すばる』連載を単行本化。

毎日新聞 2020/01/04

2019:12./ 283p

978-4-08-771684-9

本体 ¥1,600+税



### ブラック・マリア

鈴川 紗以 著

幻冬舎

義父に強姦された夜、彼女は地獄で生きる覚悟をした...。孤高の建築家マリアの光と影を描いた書き下ろしの表題作ほか、『Hanako』掲載の「ルカの麒麟」を併録する。

毎日新聞 2020/01/04

2019:12./ 324p

978-4-344-03552-2

本体 ¥1,500+税





**ねこはい(角川文庫 み 52-1)**

南 伸坊 著  
KADOKAWA

猫を詠んだ俳句ではなく、「自分が猫だったらどんなかな、と思って作った」俳句絵本。もっと猫になりきって作った「ねこはい に」も、描き下ろしの「おまけ」も入った、贅沢な文庫版。

2019:11./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-04-108761-9

本体 ¥680+税



毎日新聞 2020/01/05



**自分をコントロールする力～非認知スキルの心理学～(講談社現代新書 2551)**

森口 佑介 著  
講談社

人生の成功を左右する「非認知スキル」。そのなかでも重要な「自分をコントロールする力(実行機能)」は、どのように身につけ、どんなときに働かなくなるのか。発達心理学の最新知見から、その育て方・鍛え方を公開する。

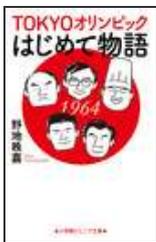
2019:11./ 230p

978-4-06-517919-2

本体 ¥900+税



毎日新聞 2020/01/05



**TOKYO オリンピックはじめて物語(小学館ジュニア文庫 ジの-3-1)**

野地 秩嘉 著  
小学館

1964 年、東京で開催されたアジア初のオリンピックから、人々の暮らしに大きな影響を与えたアイデアや技術、仕事が生まれた。グラフィックデザイナーやシェフなど、それぞれの分野に革命を起こした 5 人のドラマを描く。

2019:6./ 196p

978-4-09-231289-0

本体 ¥700+税



毎日新聞 2020/01/05



**宮沢賢治デクノボーの叢知(新潮選書)**

今福 龍太 著  
新潮社

宮沢賢治の物語宇宙のまったく新しい相貌を照らし出した書。石、風、火山、動物などの実在物や、心象、未完といった構造に隠された賢治の創造原理を解き明かし、いまを生きる私たちの「倫理」を問う。

2019:9./ 395p

978-4-10-603846-4

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/01/05



**人種とスポーツ～黒人は本当に「速く」「強い」のか～(中公新書 2163)**

川島 浩平 著  
中央公論新社

スポーツにおける黒人の活躍は圧倒的に見えるが、彼らは他の「人種」に比べ、本当に身体能力が優れているのか。人種とスポーツの関係を歴史的に辿り、最新の科学的知見を交え、能力の先天性の問題について明らかにする。

2012:5./ 3p,256p

978-4-12-102163-2

本体 ¥840+税



毎日新聞 2020/01/05



**秋元松代<1> 常陸坊海尊/近松心中物語/元禄港歌(ハヤカワ演劇文庫 49)**

秋元 松代 著  
早川書房

戦後を代表する劇作家・秋元松代の戯曲集。1 は、東北の民間伝承を背景に、孤児となった少年の懺悔と救済の生涯を描いた芸術祭賞受賞作「常陸坊海尊」など、全 3 篇を収録する。

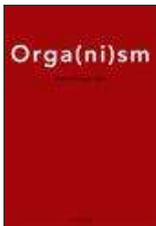
2019:12./ 333p

978-4-15-140049-0

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/01/05



### オーガ<ニ>ズム

阿部 和重 著  
文藝春秋

阿部和重郎に、アメリカから瀕死の諜報部員が転がり込んだ。アメリカ大統領に迫る核テロの危機。CIA ケースオフィサーと阿部は、世界を破滅させる陰謀を阻止できるのか…。神町シリーズ最終章。『文學界』連載を書籍化。

2019:9./ 861p  
978-4-16-391097-0  
本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/01/05



### 毒親介護(文春新書 1240)

石川 結貴 著  
文藝春秋

自分を傷つけたり、勝手な言動を繰り返してきた親が老いた時、子どもはどうすればいいのか。どれほどひどい親でも、子どもにとっては唯一無二の存在。高齢の毒親を介護する人たちの実態を報告し、そこに希望があるのかを探る。

2019:11./ 255p  
978-4-16-661240-6  
本体 ¥800+税



毎日新聞 2020/01/05



### 半七捕物帳〜時代推理小説〜<1>(光文社文庫)

岡本 綺堂 著  
光文社

毎日新聞 2020/01/05

2001:11./ 453p  
978-4-334-73229-5  
本体 ¥680+税



### 暗約領域(新宿鮫 11)

大沢 在昌 著  
光文社

北新宿のヤミ民泊で男の銃殺死体を発見した鮫島に、上司は新人刑事の矢崎と組むことを命じる。一方、男の死を知り、友人である国際的犯罪者・陸永昌が来日し…。8年ぶりのシリーズ最新作。『小説宝石』連載を加筆し書籍化。

2019:11./ 709p  
978-4-334-91317-5  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/01/05



### 小泉進次郎と権力

清水 真人 著  
日本経済新聞出版社

秘書時代から10年。変容する日本政治のなかで、小泉進次郎は永田町の密室、政権与党の中核で権力の何を見て、どう考え、行動してきたのか。次代のエースの政治家としての実像を掘り下げる。

2019:11./ 356p  
978-4-532-17683-9  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/01/05



### 百鬼園百物語〜百問怪異小品集〜(平凡社ライブラリー 789)

内田 百問、東 雅夫 編  
内田 百問 著  
平凡社

夢とうつつのあわいに揺らぐ奇妙な風景。ありふれた日常の描写から異界への道が開かれる内田百問文学の妙-。うろんな世界を精緻な言葉で描く名手の小説・随筆・日記、全百篇を収録。「おばけずき」に続く文豪小品シリーズ。

2013:6./ 366p  
978-4-582-76789-6  
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/01/05



### ドーピングの哲学～タブー視からの脱却～

パスカル・ヌーヴェル 編  
橋本 一径 著  
新曜社

ドーピングは競争・向上をめざす近代スポーツが生み出した必然ではないのか。ドーピング撲滅運動の問題性を指摘し、スポーツと社会のあり方を根底から問いなおす。日本の現状に合わせた訳者解説を付す。

2017:10./ 323p  
978-4-7885-1546-8  
本体 ¥4,300+税



毎日新聞 2020/01/05



### 都心から行ける日帰り古墳～関東 1 都 6 県の古墳と古墳群 102～

日帰り古墳推進委員会 編  
ワニブックス

東京タワーのご近所古墳、神奈川の古代アートな古墳、黄門様が発掘した栃木の古墳…。魅力たっぷり&個性豊かな関東 1 都 6 県の古墳と古墳群 102 を紹介する。データ:2019 年 10 月現在。

2019:11./ 191p  
978-4-8470-9855-0  
本体 ¥1,545+税



毎日新聞 2020/01/05



### 風にあたる

山階 基 著  
短歌研究社

缶コーヒー買って飲むことだってひとがするのを見て覚えたの 音楽を声に出したら泣いてしまう夜をだまってだまって帰る 2010 年から 2019 年までの 346 首を収めた歌集。

2019:7./ 149p  
978-4-86272-618-6  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/01/05



### はじめに財布が消えた...～現代ロシア短編集～(群像社ライブラリー 42)

マーシャ・トラウブ、ヴィクトル・シェンデローヴィチ 著  
群像社

平凡な日常からの急激な変貌、現実と虚構というふたつの異なる世界の間でのバランス…。文学的伝統と新時代の大胆な試みがまざりあった現代のロシア文学の輪郭を伝える短編集。表題作ほか全 16 編を収録する。

2019:11./ 215p  
978-4-910100-01-2  
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/01/05



### 東ドイツ史～1945-1990～

ウルリヒ・メーラート、伊豆田 俊輔 著  
白水社

東ドイツ研究の第一人者による、一般向けの通史。指導者や政党など政治的な動向を中心に「分断国家」の変遷をたどり、分かりやすく解説する。図版も多数収録。

2019:11./ 221p,29p  
978-4-560-09733-5  
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/01/05、読売新聞 2020/01/26



### 中国人が上司になる日(日経プレミアシリーズ 414)

青樹 明子 著  
日本経済新聞出版社

夜中 2 時 3 時までサービス残業を厭わないエリートたち、携帯の機種で相手の社会的地位を判断、クオリティよりスピード、政治を無視すると何もできない…。旧慣を残しつつ変遷する中国ビジネス習慣の最前線を分析する。

2019:11./ 253p  
978-4-532-26414-7  
本体 ¥850+税



毎日新聞 2020/01/05、日本経済新聞 2020/01/18



**追いついた近代消えた近代～戦後日本の自己像と教育～**

荻谷 剛彦 著  
岩波書店

「追いつき型近代」を達成した日本は、社会の変化にどう対応しようとしてきたのか。教育政策を過去と未来をつなぐ結節点ととらえ、さまざまな政策文書や知識人・研究者の言説をひもとき、現在の問題群の原点を抉り出す。

2019:9./ 37p,369p,6p  
978-4-00-061362-0

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2020/01/12



**大きな字で書くこと**

加藤 典洋 著  
岩波書店

私は誰か。何が、その問いの答えなのか。大きな字で書いてみると、何が書けるのか。急逝した文芸評論家が遺した、最後のことばをまとめる。『図書』連載を書籍化。

2019:11./ 8p,149p  
978-4-00-061373-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/01/12



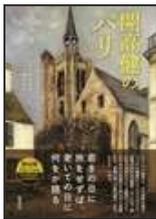
**風に訊け～ザ・ラスト～(集英社文庫)**

開高 健 著  
集英社

毎日新聞 2020/01/12

2003:10./ 381p  
978-4-08-747631-6

本体 ¥700+税



**開高健のパリ**

開高 健、モーリス・ユトリロ、山下 郁夫 著  
集英社

20代の終わりに初めて訪れたパリを描いたエッセイと、ユトリロについての評論から、開高健の若き日の苦悩を浮き彫りにする。1961年刊行の『現代美術 15 ユトリロ』に写真を加えて再編集。角田光代による解説も収録。

2019:9./ 125p  
978-4-08-781677-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/01/12



**近鉄魂とはなんだったのか?～最後の選手会長・磯部公一と探る～**

元永 知宏 著  
集英社

2004年11月30日、プロ野球で最後に消滅した近鉄バファローズ。“お荷物球団”“いてまえ打線”と呼ばれた個性あふれる球団の真実を、監督、選手、球団代表、ファンへの徹底取材をもとに明らかにする。

2019:11./ 303p  
978-4-08-788030-4

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/01/12



**パニック・裸の王様 改版(新潮文庫 か-5-1)**

開高 健 著  
新潮社

毎日新聞 2020/01/12

2010:4./ 333p  
978-4-10-112801-6

本体 ¥550+税





### 最果ての決闘者

逢坂 剛 著  
中央公論新社

頭部に被弾し、記憶を失った新選組副長・土方歳三は<内藤隼人>と名を変え、時枝ゆらとともに米国西部へと渡る。過酷な旅路、先住民との戦闘...絶え間なく襲い来る危機から愛する者を守るか。『中央公論』連載を単行本化。

毎日新聞 2020/01/12

2019:10./ 503p  
978-4-12-005239-2  
本体 ¥1,900+税



### 武田百合子対談集

武田 百合子 著  
中央公論新社

深沢七郎、金井久美子・美恵子、吉行淳之介らとの対談を収めた、武田百合子の対談集。NHK ラジオで放送された「富士日記」をめぐって」も収録する。

毎日新聞 2020/01/12

2019:11./ 200p  
978-4-12-005249-1  
本体 ¥1,700+税



### 猫と庄造と二人のをんな(中公文庫 た30-55)

谷崎 潤一郎 著  
中央公論新社

猫に嫉妬する妻と元妻、そして女より猫がかわいくてたまらない男がくりひろげる軽妙な心理コメディの表題作に、美女とペルシヤ猫への愛を高らかにうたう未完の小品「ドリス」を併録。安井曾太郎の挿画も収録。

毎日新聞 2020/01/12

2013:7./ 172p  
978-4-12-205815-6  
本体 ¥533+税



### 無敗の男～中村喜四郎全告白～

常井 健一 著  
文藝春秋

ゼネコン汚職で逮捕されるが完全黙秘を貫き、検事をして「男の中の男」と言わしめた伝説の男・中村喜四郎。ムショ帰り後も当選を続け、今も現役の「選挙の鬼」が、25年の沈黙を破ってすべてを告白する。

毎日新聞 2020/01/12

2019:12./ 332p  
978-4-16-391118-2  
本体 ¥1,900+税



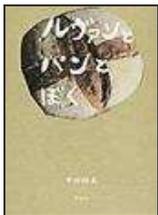
### 昭和とわたし～澤地久枝のこころ旅～(文春新書 1231)

澤地 久枝 著  
文藝春秋

昭和の戦争や重大事件を扱った重厚な作品から、着物についてのエッセイ、友人との交遊などを描いた軽妙な作品まで。女性ノンフィクションの草分けとして知られる澤地久枝の、約50年にわたる仕事を凝縮した一冊。

毎日新聞 2020/01/12

2019:9./ 260p  
978-4-16-661231-4  
本体 ¥800+税



### ルヴァンとパンとぼく

甲田 幹夫 著  
平凡社

自家培養発酵種のパンをつくり続けて35年。パン屋「ルヴァン」の店主が、食べること、働くこと、幸せになることについて綴る。『うかたま』連載を再構成し、書き下ろし、「按田餃子」の按田優子との対談を加える。

毎日新聞 2020/01/12

2019:11./ 164p  
978-4-582-63225-5  
本体 ¥1,800+税





### 破滅者

トーマス・ベルンハルト、岩下 真好 著  
みすず書房

グレン・グールドおよび、グールドが「破滅者」と呼んだヴェルトハイマーを主人公にした表題作ほか、実名の音楽家や芸術家を織り交ぜながら、著者の回想の形式で進行する小説全2作品を収録。

毎日新聞 2020/01/12

2019:11./ 385p  
978-4-622-08846-2  
本体 ¥5,500+税



### テロリストの誕生～イスラム過激派テロの虚像と実像～

国末 憲人 著  
草思社

普通の EU 市民は、いかにして凶悪なテロリストに変貌したのか。シャルリー・エブド襲撃事件、パリ同時多発テロ…。丹念な現地取材をもとに、テロリストが誕生した過程と背景を探り、彼らの意識と思考回路を明らかにする。

毎日新聞 2020/01/12

2019:10./ 541p  
978-4-7942-2420-0  
本体 ¥2,900+税



### つけびの村～噂が5人を殺したのか?～

高橋 ユキ 著  
晶文社

一夜に5人の村人が殺害された集落。犯人の家に貼られた川柳「つけびして煙り喜ぶ田舎者」は<戦慄の犯行予告>として世間を騒がせたが…。山口連続殺人放火事件を追いかけるルポルタージュ。ウェブ掲載記事をもとに書籍化。

毎日新聞 2020/01/12

2019:9./ 302p  
978-4-7949-7155-5  
本体 ¥1,600+税



### 美術展びあ<2020> 絶対に観たい!全国の美術展 105(びあ MOOK)

びあ

世界屈指の名画が来日するロンドン・ナショナル・ギャラリー展を筆頭に、ハマスホイの個展、仏教美術の展覧会など、2020年注目の美術展105を紹介。「2020年美術展カレンダー」付き。データ:2019年12月現在。

毎日新聞 2020/01/12

2020:1./ 98p  
978-4-8356-4113-3  
本体 ¥880+税



### 一日の光あるいは小石の影

森内 俊雄 著  
アーツアンドクラフツ

<森内文学>30余年のエッセイを集成。結婚、こどもの誕生、編集者時代の仕事、数々の文学賞受賞の思い出…。小説世界を支える日常生活と読書・思索の日々について綴る。

毎日新聞 2020/01/12

2019:12./ 483p  
978-4-908028-45-8  
本体 ¥3,800+税



### 勿忘草の咲く町で～安曇野診療記～

夏川 草介 著  
KADOKAWA

命の尊厳とは何か? 高齢の患者が多い地方の小規模病院で、答えのない問いに必死で向き合う若き研修医と看護師の奮闘を描いた連作短編集。『小説野性時代』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2020/01/19

2019:11./ 278p  
978-4-04-108422-9  
本体 ¥1,600+税





### 遠の眠りの

谷崎 由依 著  
集英社

女工として働く絵子は、百貨店の支配人と知り合う。百貨店には専属の「少女歌劇団」があり、絵子は「お話係」として雇ってもらうことに。看板女優・キヨと仲良くなるが、実は彼女は…。『すばる』連載を加筆修正して単行本化。

毎日新聞 2020/01/19

2019:12./ 274p  
978-4-08-771687-0  
本体 ¥1,800+税



### 朧どもえ

辻原 登 著  
中央公論新社

甫とちづるはセックスレス夫婦。ある日、ちづるは年下のネイリスト可奈子に誘われて、性愛の関係を結ぶ。さらに甫と旧知の毬子と意気投合したちづるは、可奈子を毬子に紹介し…。『中央公論』連載を書籍化。

毎日新聞 2020/01/19

2020:1./ 455p  
978-4-12-005258-3  
本体 ¥1,800+税



### 宇宙は無限か有限か(光文社新書 1037)

松原 隆彦 著  
光文社

宇宙は無限に続いているのか、それとも有限に途切れているのか。「果て」はあるのかないのか。現代の科学では答えの出ていない“根源的な問い”を、最新の宇宙論の成果を交えて考察する。

毎日新聞 2020/01/19

2019:11./ 253p  
978-4-334-04445-9  
本体 ¥800+税



### 大江健三郎とその時代～「戦後」に選ばれた小説家～

山本 昭宏 著  
人文書院

戦後文学の頂点を極めた作家、大江健三郎。半世紀以上にわたり書き継がれた数々の作品と発言を隅々まで渉猟し、相互に影響し合った作品と時代の関係を丹念に解き明かす。

毎日新聞 2020/01/19

2019:9./ 327p  
978-4-409-52079-6  
本体 ¥3,500+税



### 研究不正と歪んだ科学～STAP細胞事件を超えて～

榎木 英介 著  
日本評論社

2014年に発生したSTAP細胞と称される細胞に関する論文不正事件(STAP細胞事件)を題材に、研究不正とは何か、どうすれば防げるのかをさまざまな角度から論じる。

毎日新聞 2020/01/19

2019:11./ 3p,185p  
978-4-535-78767-4  
本体 ¥2,300+税



### 信長家臣明智光秀(平凡社新書 923)

金子 拓 著  
平凡社

日本史上、もっともミステリアスでドラマティックな事件、本能寺の変。なぜ明智光秀は主君織田信長を討ったのか。信長研究の第一人者が光秀の足跡を追いつつ、人物像にも触れることで、信長殺害までのいきさつに迫る。

毎日新聞 2020/01/19

2019:10./ 231p  
978-4-582-85923-2  
本体 ¥840+税





**日本人の病気と食の歴史～長寿大国が歩んだ苦難の道～(ベスト新書 588)**

奥田 昌子 著  
ベストセラーズ

日本人を長寿にした「和食道」1 万年の旅-。日本人の体質を踏まえた予防医療を考えてきた著者が、日本人の病気と食の歴史をたどり、忘れてはならない教訓や、今の時代に生かすべきヒントを伝える。

毎日新聞 2020/01/19

2019:10./ 279p  
978-4-584-12588-5  
本体 ¥900+税



**柳田国男～感じたるまゝ～(ミネルヴァ日本評伝選)**

鶴見 太郎 著  
ミネルヴァ書房

自身の、そして無数の生活者の記憶や経験を堆積させることにより、その背後からひとつの歴史を描き出した柳田国男。青年詩人、農政学者、官僚から民間学者へと転身し、日本の民俗学の礎を築き上げた知の巨人の全貌を描く。

毎日新聞 2020/01/19

2019:9./ 10p,358p,10p  
978-4-623-08739-6  
本体 ¥2,800+税



**電源防衛戦争～電力をめぐる戦後史～**

田中 聡 著  
亜紀書房

官僚による統制に抵抗し続けた「電力の鬼」、労働組合と共産党の弱体化を狙った右翼活動家…。戦後の電気業界再編の内幕を、それに付随して起こったスキャンダラスな出来事に注目しながら描いた、骨太のノンフィクション。

毎日新聞 2020/01/19

2019:9./ 347p  
978-4-7505-1617-2  
本体 ¥1,800+税



**日本社会の周縁性**

伊藤 亜人 著  
青灯社

人間中心、論理的思考の中華文明圏。その周縁、<物>に即した日本の思考。東アジアの文明において日本社会・日本文化の占めてきた位置を、日韓のフィールドワークや体験に基づいて検討し、周縁性という特質を明らかにする。

毎日新聞 2020/01/19

2019:9./ 269p  
978-4-86228-108-1  
本体 ¥2,500+税



**図説明智光秀**

柴 裕之 著  
戎光祥出版

丹波攻めとその経営手腕、信長が頼った戦略眼と調略、比叡山焼き討ち、裏切られ裏切った戦国のならい…。「真実」の明智光秀像を探るべく、光秀自身のみならず、一族や家臣、伝承も含めて追求し、図版を多用して解説する。

毎日新聞 2020/01/19

2018:12./ 157p  
978-4-86403-305-3  
本体 ¥1,800+税



**明智光秀と近江・丹波～分国支配から「本能寺の変」へ～(淡海文庫 63)**

福島 克彦 著  
サンライズ出版

明智光秀とはどのような武将だったのか。なぜ織田信長を裏切ったのか。交わされた書状類を丹念に読み込み、近江国志賀郡・丹波国領主から本能寺の変に至った明智光秀の人物像に迫る。

毎日新聞 2020/01/19

2019:6./ 184p  
978-4-88325-195-7  
本体 ¥1,500+税





**民衆の教育経験～戦前・戦中の子どもたち～ 増補版(岩波現代文庫 学術 411)**

大門 正克 著  
岩波書店

子どもが教育を受容してゆく過程を、国民国家による統合と、民衆による反発や抵抗、捉え返しとの間の反復関係(教育経験)として捉え直す。肢体不自由児、在日朝鮮人や占領地の子どもの教育経験を検証した補章を付す。

2019:9./ 9p,399p  
978-4-00-600411-8

本体 ¥1,420+税



毎日新聞 2020/01/19、毎日新聞 2020/01/26



**民衆の芸術(岩波文庫 白 201-2)**

ウィリアム・モリス 著  
岩波書店

「民衆のための、民衆による芸術」をモットーとする彼の論述は資本主義社会の悪を指摘し、労働者の日々の労働のうちにこそ美の喜びは生まれていかねばならないとする。

1953:4./ 194p

978-4-00-342012-6

本体 ¥660+税



毎日新聞 2020/01/26



**ユートピアだより(岩波文庫 34-201-1)**

ウィリアム・モリス 著  
岩波書店

ある朝目を覚ますと、22世紀のロンドンだった。そこでは貨幣はすでに使われず、学校は廃止され、あれほど汚れていたテムズ川は澄みわたり、人々は「喜びとしての労働」に従事している。不朽のユートピア・ファンタジー。

2013:8./ 485p

978-4-00-359031-7

本体 ¥1,140+税



毎日新聞 2020/01/26



**インドが変える世界地図～モディの衝撃～(文春新書 1237)**

広瀬 公巳 著  
文藝春秋

今後、中国を上回る世界最大の人口となり、日本、ドイツを抜き世界 3 位の経済大国になると予測されるインド。モディ首相の強いリーダーシップ、AI 戦略、巨大市場...。NHK 元ニューデリー支局長がインドの最新情勢を伝える。

2019:10./ 255p

978-4-16-661237-6

本体 ¥880+税



毎日新聞 2020/01/26



**台湾海峡一九四九**

龍 應台、天野 健太郎 著  
白水社

現在の台湾社会を構築するすべての要素が出揃った 1949 年。戦争、内戦という苛烈な社会情勢のなか、台湾の人びとが下したささやかな決断と、それがもたらした壮絶な流浪の軌跡を描く。

2012:6./ 434p

978-4-560-08216-4

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2020/01/26



**父を見送る～家族、人生、台湾～**

龍 應台、天野 健太郎 著  
白水社

息子のひとり立ち、母の老い、父との別れ...。台湾文壇の重鎮が綴る、やさしさと情愛に満ちた家族の物語。歴史ノンフィクション「台湾海峡一九四九」の前篇ともいべき珠玉のエッセイ集。

2015:8./ 283p

978-4-560-08460-1

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/01/26



**一気にわかる!池上彰の世界情勢<2020> 自国ファースト化する世界編**

池上 彰 著

毎日新聞出版

アメリカ大統領選挙、香港市民による大規模デモ、北朝鮮の核開発、イギリス EU 離脱問題...。池上彰が最新の国際情勢をわかりやすく解説する。『毎日小学生新聞』連載記事を元に加筆・編集して単行本化。

毎日新聞 2020/01/26

2020:1./ 223p

978-4-620-32617-7

本体 ¥1,000+税



**ミシェル・レリスの肖像~マッソン、ジャコメッティ、ピカソ、ペイコン、そしてデュシャンさえも~**

千葉 文夫 著

みすず書房

記憶の襞の奥に入り込み、独自の「詩と真実」の追求を試みる自伝的作品に本領があるレリス。20 世紀フランスにおける特異な存在である「文脈から逸脱をつづける人」に共振する、エレガントな研究エッセイ。

毎日新聞 2020/01/26

2019:10./ 257p

978-4-622-08847-9

本体 ¥5,500+税



**究~ミネルヴァ通信~<2014年1月号>**

ミネルヴァ書房

小塩隆士、藤本哲也、村田晃嗣ほか執筆

毎日新聞 2020/01/26

2014:1./ 48p

978-4-623-07016-9

本体 ¥300+税



**黒岩涙香~断じて利の為には非ざるなり~(ミネルヴァ日本評伝選)**

奥 武則 著

ミネルヴァ書房

明治時代、大衆新聞「萬朝報」を創刊した黒岩涙香は、「探偵小説の元祖」としても知られ、「巖窟王」「噫無情」などで人気を博した。権力におもねらず、いち早く「大衆」を見据えた「まむしの周六」の全体像を描き出す。

毎日新聞 2020/01/26

2019:11./ 20p,425p,5p

978-4-623-08750-1

本体 ¥3,800+税



**ネットと差別扇動~フェイク/ヘイト/部落差別~**

谷口 真由美、荻上 チキ、津田 大介、川口 泰司、部落解放・人権研究所 編

谷口 真由美、荻上 チキ、津田 大介、川口 泰司 著

解放出版社

人権が保障されたネット空間、人権確立社会の実現に向けて何が必要で、どう取り組めばよいのか。ドイツや EU の先駆的な事例に学びながら、国内における取り組みを論じる。2018 年 12 月開催のシンポジウムを書籍化。

毎日新聞 2020/01/26

2019:10./ 11p,154p

978-4-7592-1103-0

本体 ¥1,400+税



**精選折口信夫<1> 異郷論・祭祀論**

岡野 弘彦 編

折口 信夫 著

慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。1 は、「まれびと」とそれを迎える聖なる女性「神の嫁」とを論じた諸編、神祭りの発生などを収める。

毎日新聞 2020/01/26

2018:11./ 291p

978-4-7664-2548-2

本体 ¥2,800+税



**精選折口信夫<2> 文学発生論・物語史論**

岡野 弘彦 編  
折口 信夫 著  
慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。2 は、折口の生涯のテーマであった「日本文学の発生論」の展開を、「貴種流離譚」「源氏物語論」などの物語史とともにとらえる。

毎日新聞 2020/01/26

2018:11./ 288p  
978-4-7664-2549-9  
本体 ¥2,800+税

**精選折口信夫<3> 短歌史論・道空短歌編**

岡野 弘彦 編  
折口 信夫 著  
慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。3 は、いのちの言葉のしらべを追究した短歌の本質論と、道空短歌にみる心の秘奥をとらえる。

毎日新聞 2020/01/26

2018:12./ 301p  
978-4-7664-2550-5  
本体 ¥2,800+税

**精選折口信夫<4> 芸能史論**

岡野 弘彦 編  
折口 信夫 著  
慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。4 は、百年前・千年前に滅びた芸能の発生展開を再構築していく芸能史論を収録。

毎日新聞 2020/01/26

2019:1./ 304p  
978-4-7664-2551-2  
本体 ¥2,800+税

**精選折口信夫<5> 随想ほか・道空詩編**

岡野 弘彦 編  
折口 信夫 著  
慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。4 は、自身や家族、師・友との交遊、日本文学をはぐくんだ風土の随想のほか、「民族史観における他界観念」の草稿、詩などを収録。

毎日新聞 2020/01/26

2019:3./ 352p  
978-4-7664-2552-9  
本体 ¥2,800+税

**精選折口信夫<6> アルバム**

岡野 弘彦 編  
折口 信夫 著  
慶應義塾大学出版会

折口信夫の学問研究および釈道空の筆名で発表された詩歌の作品をも含めた、全著作から精選。6 は、折口およびその関係する人々、ゆかりの場所および物品などの写真を収録。折口信夫製作「日本文学系図」、旅の記録なども掲載。

毎日新聞 2020/01/26

2019:11./ 228p  
978-4-7664-2553-6  
本体 ¥2,800+税





### “フランスかぶれ”ニッポン

橘木 俊詔 著

藤原書店

文学、絵画、音楽、料理…。いつもフランスに片想いと憧れを感じてきたニッポン。自身もフランスにかぶれた経済学者が、フランスの魅力を余すところなく博搜し、フランスかぶれとして在ることの栄光と悲哀を浮き彫りにする。

2019:10./ 331p

978-4-86578-246-2

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2020/01/26



### 永遠の時の流れに〜母・美君への手紙〜

龍 應台、劉 燕子、劉 燕子、和泉 ひとみ 著

集広舎

台湾のベストセラー作家・龍應台による、認知症の母・美君に向けて綴られた手紙。母に読まれることも母からの返信もないであろう「19章の手紙」に、「掌編のコラム」と「息子たちとの対話」を併録。

2019:12./ 365p

978-4-904213-86-5

本体 ¥2,182+税



毎日新聞 2020/01/26